KENWOOD

デジタルオーディオレコーダー

MGR-A7

取扱説明書　保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

※一般電話·公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
FAX **045-933-5553**
受付時間　月曜日〜金曜日　9:30 〜 18:00
土曜日　9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:30
※日曜、祝日及び弊社休日を除く

© B60-5731-10/02 (J)

目次

本機の特長

高精度な録音を実現するレコーディングテクノロジー

- 録音目的にあわせて3種類のマイクモードから選択可能な「高性能3マイク」搭載
- 非圧縮「リニア PCM」録音によるオーディオ CD クオリティの高音質録音が可能
- 振動により発生する不要ノイズを低減する「フローティングマイク機構」
- 録音シーンに応じて最適なマイク録音を可能とする「REC EQ」

原音に忠実なサウンドを実現するサウンドテクノロジー

- 歪みを抑制したクリアな音楽再生を実現する「クリアデジタルアンプ」搭載
- 圧縮音楽を原音クオリティレベルで再現する帯域補間技術「Supreme（サプリーム)」搭載
- 高精度な信号変換と増幅を実現する「Lch/Rch 独立回路設計」
- 長時間の録音・再生に便利な「2GB メモリー内蔵」& SDHC 対応「SD カードスロット」

安全上のご注意

⚠：本項目は安全確保のために、必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。
この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のポータブルオーディオ機器全般についての内容も記載しています。（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスク・メモリーなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

警告

AC アダプターの電源プラグは交流 100 ボルトに接続する

指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

布や布団などでおおったりつつんだりしない

AC アダプターは、風通しの悪いところで使用すると内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。
火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら AC アダプターや電源プラグには触れない

感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら屋外で使用しない

感電の原因となります。

電源プラグ、AC アダプターのプラグを定期的に清掃する

電源プラグ、AC アダプターのプラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

落としたら電源プラグを抜く

AC アダプターや機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ACアダプターや機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

指定のACアダプターを使う

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・感電の原因となります。

運転中、および歩行中はヘッドホンを使用しない

交通事故の原因となります。
自転車に乗りながら、または自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない。また、歩行中にこの機器を使用すると周囲の音が遮断され、警告音などが聞こえにくくなります。

運転中は操作しない

自動車やオートバイ、自転車など運転中の操作は行わない。交通事故の原因となります。本機を操作するときは、必ず安全な場所に車を停めてから行ってください。

運転中は画面を注視しない

交通事故の原因となります。

⚠注意

本機、電源コード、ACアダプターを熱器具に近づけない

本機、電源コード、ACアダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気のあたる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災、液もれの原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災、液もれの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災、液もれの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。

肌に異常を感じたら使用しない

皮膚に炎症を起こす原因となることがあります。
万一使用して肌や耳に異常を感じたら、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。

耳に病気がある人は使用しない

病気を悪化させる原因となることがあります。
万一使用して肌や耳に異常を感じたら、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。

ヘッドホンの脱着は丁寧に行う

耳へのヘッドホンの脱着はゆっくりと丁寧に行ってください。乱暴に脱着を行うと耳を傷つけることがあります。

定期的に内部の点検、清掃をする

3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

取扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。本機や記録したデータが破損する原因となります。
- ディスプレイに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものと一緒にバックなどに入れないでください。押されたときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- **汗や湿気に注意する**
  本機を夏場の胸ポケットに入れて長時間使用すると内部に水分や汗などが浸入して誤動作、故障の原因となります。

使用温度範囲

温度：5℃～ 35℃ ただし結露しないこと。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

お手入れのしかた

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

記録したオーディオについて

- 本機やパソコンの不具合で、データが破損または消去された場合、そのデータ内容および付随的損害（音楽の購入取得に要した諸費用等を含む）の保証はいたしません。

著作権を守りましょう

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- 市販の音楽CDなどを著作者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。
- 個人で楽しむ目的で記録したデータを、権利者の許諾無しに故意にインターネットで配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触する可能性があり、その場合処罰の対象となります。
- 権利者の許諾無く、このレコーダーを賃貸業に使用すること、このレコーダーに収録されている音を個人的に楽しむ場合以外の目的で複製することおよびネットワーク等を通じて送信できる状態にすることは著作権法で禁じられています。

内蔵電池について

- 内蔵電池は、本機を使用していなくても少しずつ自然放電していきます。本機を長時間放置すると、内蔵電池が放電しきってしまうことがあります。
  この場合、充電してからご使用ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などにより変わります。
- 低温の環境で使用すると、再生時間が短くなります。
- 内蔵電池は約500回充電できます。（参考値であり、保証する値ではありません）
- 内蔵電池はリチウムイオン電池です。ニッカド電池やニッケル水素電池のように浅い充電や放電を繰り返すと容量が減少してしまうメモリー効果はありません。継ぎ足し充電ができます。
- 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。
  充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなった場合、内蔵電池が劣化していると思われます。
  内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。
- 内蔵電池が放電しきったことによる、記録内容の変化・消失については、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

SDカードの保管とお手入れ

保管するときは

- 必ずケースに収納して保管してください。
- 極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

汚れたら

- やわらかい布などで、軽くふきとってください。
- シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

その他お守りしていただきたいこと

- 分解や改造をしないでください。
- 貼られているラベルをはがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。

SD カードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDカード（書き込み禁止スイッチ）

SDカードには、データの書き込みを禁止スイッチがあります。大切なデータを保護するときは「LOCK」にします。新たに録音・転送・編集・消去するときは解除してください。

書き込み禁止　　解除

このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。
特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Supremeは、株式会社ケンウッドの商標です。

SD ロゴは商標です。

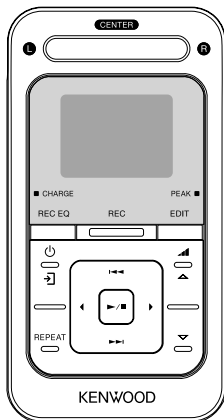
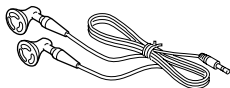
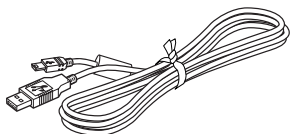
SDHC ロゴは商標です。

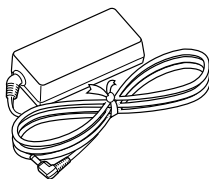
miniSD は商標です。

microSD は商標です。

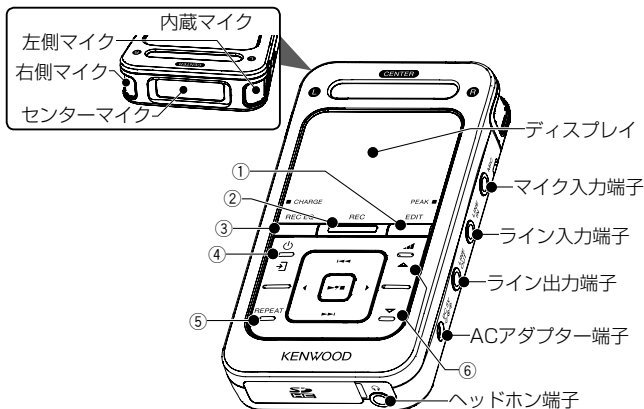
Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

付属品の確認

レコーダー本体

ヘッドホン

USBケーブル

取扱説明書
（保証書付）

ACアダプター
（AC-050150A）

電源コード

各部の名称とはたらき

① **EDIT エディットボタン**

- 録音中に押すと、押したところで録音ファイルを分割します。

② **RECボタン**

- 内蔵マイクやマイク入力端子、ライン入力端子に接続したCD、楽器や外部マイクなどの音楽の録音を開始/一時停止します。
- RECインジケータ表示

点灯	録音中です。
点滅	録音一時停止中です。
消灯	録音停止中です。

③ **REC EQボタン**

- 内蔵マイクまたは外部マイク入力の録音にイコライザー効果を設定します。

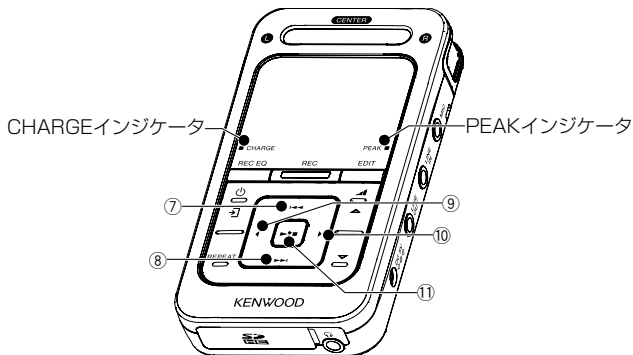
④ **⏻/⇥ 電源/メニューボタン**

- ボタンを押し続けると、電源をオン/オフできます。
- ポップアップメニューを表示します。もう一度押すと、ポップアップメニューを消せます。
- ディスプレイのバックライトが消えている場合は、バックライトを点灯します。

⑤ **リピートボタン**

- リピートモードを選択します。
- プレイ中に1秒以上押すとA-Bリピートの設定をします。

⑥ **ボリュームボタン**

- 音量を大きく（△）/小さく（▽）します。ボタンを押し続けると、徐々に音量が変わります。

⑦ I◀◀ **上ボタン**

- カーソルを上に移動します。
- 再生中は、曲の先頭に戻ります。先頭で押すと、1つ前の曲に戻ります。
- ボタンを押し続けると、押している間、早戻しされます。
- 録音中は録音レベルを上げます。（録音レベルの手動調整時）

⑧ ▶▶I **下ボタン**

- カーソルを下に移動します。
- 再生中は、次の曲に進みます。
- ボタンを押し続けると、押している間、早送りされます。
- 録音中は録音レベルを下げます。（録音レベルの手動調整時）

⑨ ◀ **左ボタン**

- 1つ前（左）の画面に戻ります。たとえば、再生画面からトラックリストへ戻ります。
- ボタンを押し続けると、ホーム画面に戻れます。

⑩ ▶ **右ボタン**

- 項目を決定して次（右）へ進みます。

⑪ ▶/■ **プレイ/ストップボタン**

- 曲を再生/停止します。
- メニュー画面では、選んだ項目を決定します。
- 録音中は、録音を停止します。

⑫ **MIC MODE マイクモードスイッチ**

- 内蔵マイクのとき、マイクモードをモノラル、2マイクおよび3マイクに設定します。
- 外部マイクのとき、マイクモードをモノラルまたはステレオに設定します。

⑬ **MIC REC LEVEL マイク録音レベルスイッチ**

- 内蔵マイクまたは外部マイク入力のとき、録音レベルを手動で調整する（MANUAL）か入力信号に合わせて自動的に調整する（AUTO）かを設定します。

⑭ **PLUG IN POWER プラグインパワースイッチ**

- プラグインパワー対応外部マイクを使用しているときにオンします。

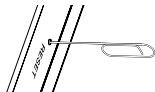
⑮ **HOLD ホールドスイッチ**

- すべてのボタン操作を受け付けなくなります。カバンなどに入れて持ち運ぶときに、本機の誤操作を防ぎます。

⑯ **RESET リセットボタン**

- 異常にお気づきのときは、まず「故障かな？と思ったら」（91ページ）を参照してください。解決方法が見つからないときは、リセットボタンをクリップやペン先などで押してください。

MEMO

- ストラップ取り付け部には、金属製のフック形状のもの（キーホルダーなど）を取り付けないでください。このようなものを取り付けると、本体が壊れる恐れがあります。

音楽を聞くまでの流れ

準備

ヘッドホンをつなぐ（26ページ）
ホールド機能について（26ページ）
電源を入れる／切る（24ページ）
充電する（28ページ）
パソコンに接続する（29ページ）

音楽ファイルを準備する

曲をパソコンに取り込む（30ページ）

パソコンから本機に曲を転送する

曲を本機に転送する（32ページ）

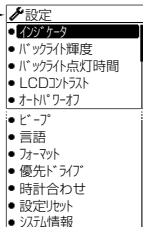
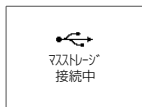
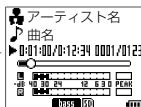
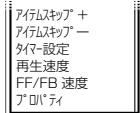
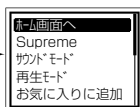
本機で音楽を再生する

曲を選んで聞く（36ページ）
再生中の画面（38ページ）
再生中の操作（39ページ）
再生モードいろいろ（40ページ）

音量や音質を調整する

音量を調整する（63ページ）
音質を調整する（63ページ）

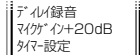
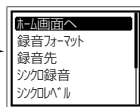
音楽や音声を録音するまでの流れ

画面表示一覧

インジケータ	77ページ
バックライト輝度	77ページ
バックライト点灯時間	77ページ
LCDコントラスト	77ページ
オートパワーオフ	77ページ
ビープ	77ページ
言語	82ページ
フォーマット	78ページ
優先ドライブ	80ページ
時計合わせ	24ページ
設定リセット	78ページ
システム情報	77ページ

再生画面
（38ページ）

ポップアップメニュー画面
再生に関係する機能を設定する画面です。

ホーム画面へ	
Supreme（サプリーム）	63ページ
サウンドモード	63ページ
再生モード	40ページ
お気に入りに追加	44ページ
お気に入りから削除	45ページ
アイテムスキップ+	43ページ
アイテムスキップー	43ページ
タイマー設定	74ページ
再生速度	46ページ
FF/FB速度	47ページ
プロパティ（ファイル情報）	

録音画面
（50ページ）

（録音一時停止中）

（録音中）

ポップアップメニュー画面
録音に関係する機能を設定する画面です。

ホーム画面へ	Line	
録音フォーマット	Line	54ページ
録音先	Line	56ページ
シンクロ録音	Line	57ページ
シンクロレベル	Line	58ページ
ディレイ録音	Line	59ページ
マイクゲイン+20dB	Line	53ページ
タイマー設定	Line	74ページ

自動録音レベル設定	Line	52ページ

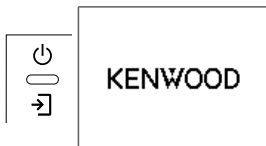
：内部マイク
：外部マイク入力
Line ：ライン入力

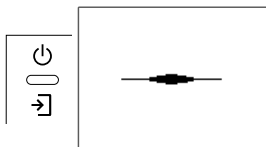
本書の読みかた／電源を入れる／時刻を合わせる

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。
実際の操作説明「日付と時計を合わせる」を使って説明します。

MEMO
- 内蔵電池の残量が少ない場合は、ACアダプターを接続してください。（28ページ）
- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることがあります。

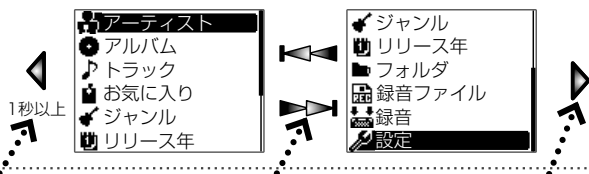
電源を入れる／切る

1　本機の電源を入れます。

ディスプレイにケンウッドのロゴが表示されるまで、電源/メニューボタンを押し続けます。

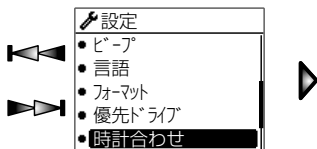
2　本機の電源を切ります。

左のイラストが表示されるまで、電源/メニューボタンを押し続けます。

日付と時計を合わせる

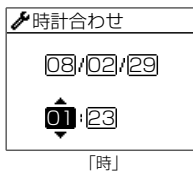
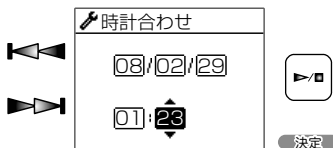
本機の日付と時計を合わせます。
録音ファイルの名前に必要です。日時を設定していないと録音ができません。

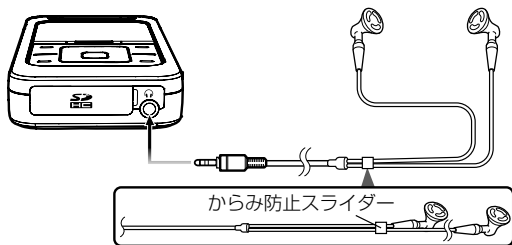
1　ホーム画面から「設定」を選択します。

1 秒以上押す
画面の表示が変わるまでボタンを押し続けます。

選択する
カーソルを上下に移動して項目を選択します。

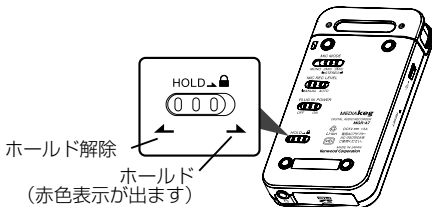
決定する
選択した項目を決定します。

MEMO

● 設定中に を押すと前の項目や画面に戻ります。

初めて使うときに

ヘッドホンをつなぐ

付属のステレオヘッドホンを本機に接続します。

- ヘッドホンの脱着は、ヘッドホン本体を持ってゆっくりおこなってください。コードを引っぱると故障の原因となります。
- からみ防止スライダーをスライドしてヘッドホン本体を固定することで、コードがからみにくくなります。

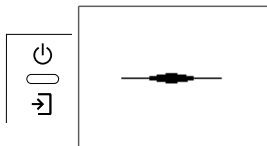
ホールド機能について

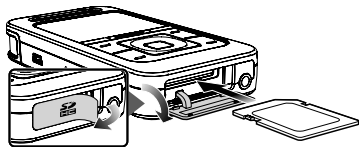
本機をカバンなどに入れて携帯するときなど、誤操作を防ぐためにすべてのボタンを無効にすること（ホールド機能）ができます。
本機を操作する際は、ホールドを解除してください。

- ホールド機能をオンにすると、再生中や録音中の画面に「」が表示されます。

SDカードの出し入れ

本機では、SDカードに保存された曲の再生や録音ができます。

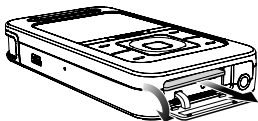
SDカードを入れる

1 **本機の電源を切ります。**

左のイラストが表示されるまで、電源/メニューボタンを押し続けます。

2 **SDカードを入れます。**

カードふたを開けます。
ラベル面を上にして、カットされた部分が右になるようにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
カードふたを閉めます。

SDカードを取り出す

1 **本機の電源を切ります。**

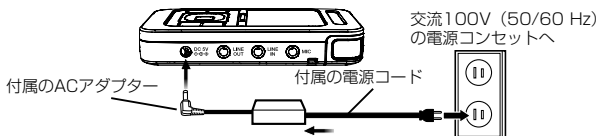
2 **SDカードを取り出します。**

カードふたを開けます。
SDカードを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。指を放すとSDカードが取り出せます。
カードふたを閉めます。

- SDカードを挿入していると、再生中や録音中の画面に「SD」が表示されます。
- miniSD™カード、miniSDHC™カード、microSD™カードの場合は専用アダプターが必要です。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。

充電する／パソコンに接続する

本機には充電式電池（以降、「バッテリ」）が内蔵されており、ACアダプターまたはパソコンとUSBケーブルで接続して充電します。

ACアダプターから充電する

付属のACアダプターを本機に接続します。
CHARGEインジケータが消灯したら充電完了です。
約3時間で充電が完了します。
ACアダプターを接続していても、本機で再生や録音ができます。

本機には指定のACアダプター「AC-050150A」：（JEITA規格・極性統一型プラグ付き）をご使用ください。指定以外のACアダプターを使用すると火災・感電の原因となります。

充電とバッテリ残量表示について

充電中はCHARGEインジケータで状態を表示します。また、再生中や録音中は、バッテリの状態が画面にアイコンで表示されます。

CHARGEインジケータ

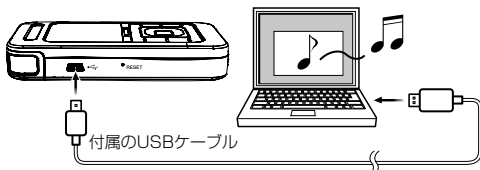
点灯	充電中です。
消灯	充電完了です。

画面のアイコン表示

→ →	電池の残量を表示します。
	電池の残量がありません。充電してください。

MEMO
● 充電中はバッテリ残量アイコンが表示されません。

パソコンとUSB接続して充電する

本機にパソコンから曲を転送したり、本機を充電するために、本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。
CHARGEインジケータが消灯したら充電完了です。
約3.5時間で充電が完了します。
USBを接続すると、データを転送するモードとなり本機での操作ができません。
パソコンから取り外す方法は、下記の「パソコンから取り外すときは」をご覧ください。

MEMO
- 必要なパソコンのシステム構成は「定格」（86ページ）をご覧ください。
- 本機を接続する前にパソコンを起動しておいてください。
- 本機は、パソコンに接続すると自動的に電源がオンになります。
- USB接続は付属のUSBケーブルを使用してください。
- パソコンのUSB端子に直接接続してください。USBハブを使用して接続した場合の動作保証はいたしません。

パソコンから取り外すときは

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックします。

タスクトレイのインジケータが隠れている場合は表示させます

Windows Vista

Windows XP

2 [USB大容量記憶装置 - ドライブを安全に取り外します]をクリックします。

(Vista)
(XP)

安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、本機からUSBケーブルを抜いてください。

曲をパソコンに取り込む

本機で再生する音楽ファイルは、まずパソコンに取り込んでおきます。
パソコンへの取り込みには、Windows Media Playerなどのリッピングソフトを使用します。

本機で再生できるオーディオデータのファイル形式は、MP3、WMAおよびWAVです。詳しくは、「定格」（86ページ）をご覧ください。

Windows Media Player 11/10/9で取り込むときは

音楽CDをWindows Media Player11/10/9でパソコンに取り込みます。
その後、本機に転送します。（説明はWindows Media Player11の場合です）

1　Windows Media Playerを起動します。

2　[取り込み]をクリックします。

3　音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

4　取り込みたい曲にチェックマークが付いていることを確認します。

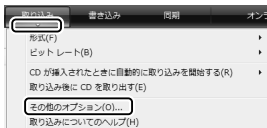
リストの一番上のチェックボックスをチェックすると、すべての曲にチェックを付けたり、はずしたりできます。

5　[取り込みの開始]をクリックします。

チェックマークの付いている曲が取り込まれます。

「取り込みオプション」ダイアログが表示される場合

「取り込んだ音楽にコピー防止を追加しない」を選択し、「CDから取り込む音楽が、……すべての責任を負うことを理解している」にチェックしてから[OK]を押します。

● Windows Media Playerで曲を取り込むときの保存先フォルダやファイル形式などについては、[ツール]→[オプション]で表示される「オプション」ダイヤログの[音楽の取り込み]タブで設定できます。
(Windows Media Player9では[音楽の録音]タブで設定します)

● 音楽CDの取り込み操作の詳細については、お使いのリッピングソフトの説明書やヘルプなどをご覧ください。

曲を本機に転送する

パソコンに取り込んである曲を、本機に転送します。

Windows Media Player 11/10/9で同期するときは

（説明はWindows Media Player11の場合です）

1 **本機をパソコンに接続します。（29ページ）**

2 **Windows Media Playerを起動します。**

3 **デバイスの設定を行います。**

「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「（SDカード）」/「KENWOOD_SD」（SDカード）のデバイスの名前が表示されたら、[完了]をクリックします。
（「Digital Player」と表示される場合があります。）

「デバイスの設定 ライブラリに追加」ダイアログが表示される場合
ライブラリに追加する曲をパソコンの中から検索します。

4 **[同期]をクリックします。**

5 **画面右側で、本機のドライブを選択します。**

「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「（SDカード）」/「KENWOOD_SD」（SDカード）を選択します。（「Digital Player」と表示される場合があります。）

6 **転送する曲を同期リストに追加します。**

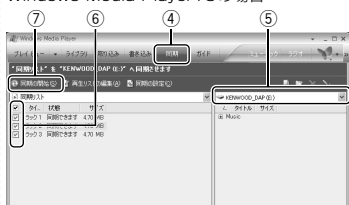
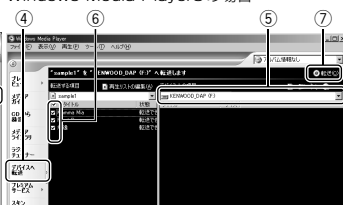
ライブラリーから曲を選択して右側の同期リストにドラッグ＆ドロップします。または、右クリックして表示されるメニューから「'同期リスト' に追加」を選択します。

7 **[同期の開始]をクリックします。**

同期の開始(S)

Windows Media Playerのバージョンによりボタン名称が変わります。

Windows Media Player10の場合　　Windows Media Player9の場合

MEMO

- Windows Media Playerなどソフトの操作方法は、お使いのソフトの説明書やヘルプなどをご覧ください。
- 音楽ファイルの転送前に、Windows Media Player上でジャンル、アーティスト名、アルバム名、曲名などが正しいことを確認してください。
- SDカードに多くの曲を記録すると、電源を入れた際に、SDカード内のすべてのファイルをチェックするため、再生が始まるまで長時間かかる場合があります。

ドラッグ& ドロップで転送するときは

Windows Media Playerのライブラリに登録されていない曲を本機に転送するときは、Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスクから本機へドラッグ& ドロップします。コピー&ペーストでも行えます。

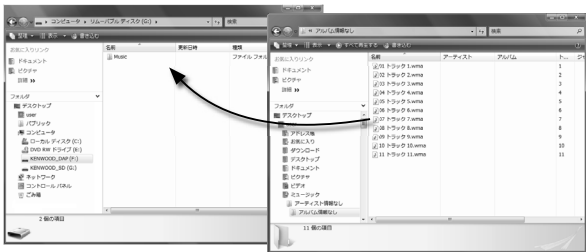
1 **本機をパソコンに接続します。（29ページ）**

2 **本機に相当するリムーバブルディスクを開きます。**

「スタート」ー「コンピュータ」ー「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「(SDカード)」/「KENWOOD_SD」（SDカード）を選択します。
（「Digital Player」と表示される場合があります。）

3 **音楽ファイルが入っているフォルダを開きます。**

4 **転送する音楽ファイルをドラッグ& ドロップします。または、コピー&ペーストします。**

MEMO

- Windows Media Playerで音楽CDの曲をパソコンに取り込むときに、コピー禁止が設定されている（「取り込んだ音楽を保護する」にチェックしている）と、本機への転送方法が Windows Media Playerのみに限定されます。ドラッグ& ドロップやコピー&ペーストで転送しても再生はできません。
- SDカードに多くの曲を記録すると、電源を入れた際に、SDカード内のすべてのファイルをチェックするため、再生が始まるまで長時間かかる場合があります。

本機から曲を削除する

本機に保存されている音楽ファイルなどを削除します。

（説明はWindows Media Player11の場合です。）

1 **本機をパソコンに接続します。（29ページ）**

2 **Windows Media Playerを起動します。**

3 **[同期]タブをクリックします。**

4 **画面右側で、本機のドライブを選択します。**

「KENWOOD_DAP」または、「(SDカード)」/「KENWOOD_SD」を選択します。（「Digital Player」と表示される場合があります。）

5 **削除する曲を選んで右クリックして表示されるメニューから[削除]を選択します。**

Windows Media Playerのバージョンによりボタン名称が変わります。

Windows Media Player10の場合　　Windows Media Player9の場合

● 本機で曲を削除することもできます。（68ページ）

MEMO

曲を選んで聞く

聞きたい曲を選んで再生します。

アーティスト	アーティスト名 → アルバムタイトル → 曲名と選択します。
アルバム	アルバムタイトル → 曲名と選択します。
トラック	曲名から選択します。
お気に入り	お気に入りに登録されている曲名から選択します。（44ページ）
ジャンル	ジャンル → アーティスト名 → アルバムタイトル → 曲名と選択します。
リリース年	リリース年 → 曲名と選択します。
フォルダ	フォルダから階層をたどってファイルを選択します。(66ページ)
録音ファイル	録音したファイルから曲を選択します。（62ページ）

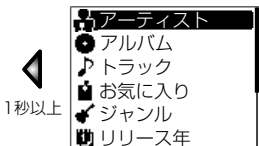
項目を選ぶと該当する曲がリスト表示されます。
再生する順番は、アルバムタイトルから曲を選択するとトラック番号順になり、そのほかで選択すると曲名順になります。

1 **ヘッドホンをつなぎ、本機の電源を入れます。**

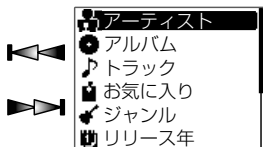
24、26ページをご覧ください。

2 **ホーム画面を表示します。**

アーティスト
アルバム
トラック
お気に入り
ジャンル
リリース年

1秒以上

ホーム画面が表示されるまで押し続けます。

3 **大項目を選択します。（たとえば、「アーティスト」を選択します）**

アーティスト
アルバム
トラック
お気に入り
ジャンル
リリース年

大項目のリストが表示されます。

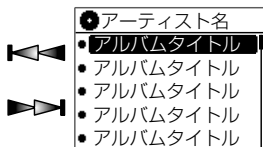
ここで ►/■ を押すとライブラリ内のすべての曲を再生します。

4 **中項目を選択します。（たとえば、「アーティスト名」を選択します）**

アーティスト
アーティスト名
アーティスト名
アーティスト名
アーティスト名
アーティスト名

中項目のリストが表示されます。

ここで ►/■ を押すと選択したアーティスト内のすべての曲を再生します。

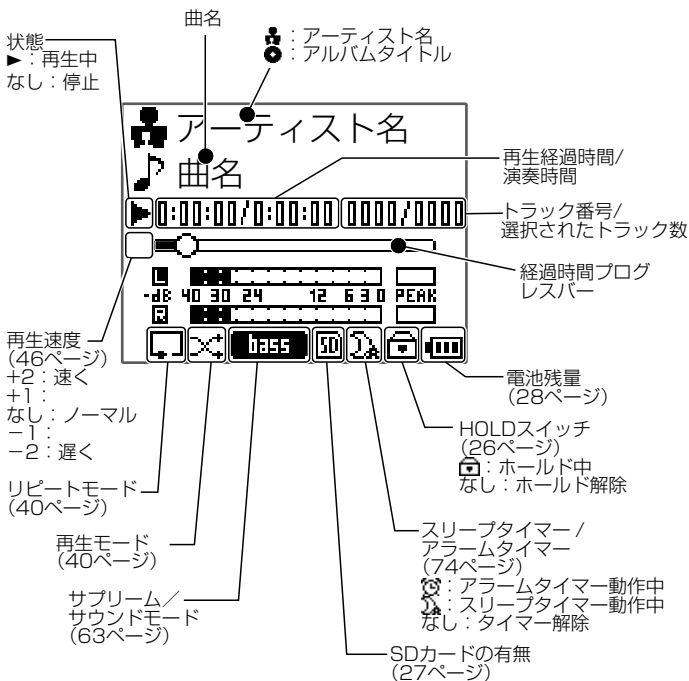
5 **中項目を選択します。（たとえば、「アルバムタイトル」を選択します）**

中項目のリストが表示されます。

ここで ►/■ を押すと選択したアルバム内のすべての曲を再生します。

6 **曲を選択します。（たとえば、「曲名」を選択します）**

- SDカードを挿入している場合は、内蔵メモリとあわせてSDカード内の曲を表示します。
- 曲にタグ情報が記録されていないと「No information」に分類されます。
- 曲の再生順は、下記の情報の順番になります。
  トラック番号順：タグ情報のトラック番号の番号順になります。トラック番号が無い場合はトラックタイトルまたはファイル名の名前順になります。
  曲名順：タグ情報のトラックタイトルまたはファイル名の名前順（ユニコード順）になります。

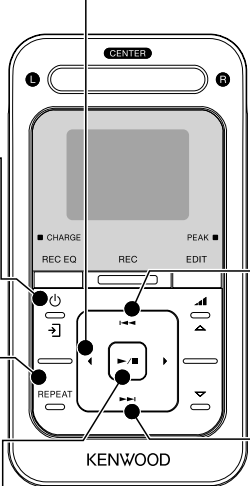
再生中の画面

再生中の画面には、いろいろな情報が表示されています。

再生中の操作

左ボタン
短く押す：
リストを表示します。
1秒以上押す：
ホーム画面を表示します。

電源/メニューボタン
ポップアップメニューを表示します。
バックライト消灯時はバックライトを点灯します。

リピートボタン
短く押す：
リピートモードを設定します。
1秒以上押す：
A-Bリピートの設定をします。

プレイ/ストップボタン
再生中：
再生を停止します。
停止中：
再生を始めます。
メニュー表示中：
設定を決定します。

上ボタン
再生中：
押すたびに、現在の曲または前の曲の先頭から再生します(スキップダウン)。
押し続けると、押している間、曲を早戻しします。
停止中：
押すたびに、現在の曲または前の曲に替わります（スキップダウン)。
押し続けると、押している間、連続して前の曲に替わります。
メニュー表示中：
カーソルを上に移動します。

下ボタン
再生中：
押すたびに、次の曲を再生します（スキップアップ)。
押し続けると、押している間、曲を早送りします。
停止中：
押すたびに、次の曲に替わります（スキップアップ)。
押し続けると、押している間、連続して次の曲に替わります。
メニュー表示中：
カーソルを下に移動します。

レジューム機能

本機では電源を切る前の状態を記憶しています。次回の起動時は停止したところから再生を始めます。

MEMO

- 停止したまま一定時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ)。オートパワーオフの時間は変更できます（77ページ)。
- 下記の場合はレジューム機能が働きません。ホーム画面に戻ります。
  - SDカードを挿入している。
  - USBを接続した。

再生モードいろいろ

曲の再生順序を選択できます。

再生モード

ノーマル	リスト内の曲を再生します。
ランダム	リスト内の曲をランダムに1回ずつ再生します
イントロ再生	リスト内の曲のイントロ部分を10秒ずつ再生します。

リピートモード

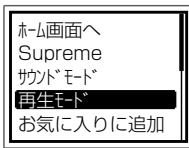
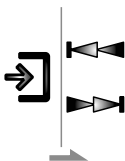
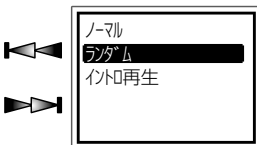
リピートオフ	リスト内の全曲を再生し停止します。
1曲リピート	同じ曲を繰り返し再生します。
全曲リピート	リスト内の曲を繰り返し再生します。

A-Bリピートモード

A↔B A-Bリピート	再生中の1曲の中で設定したA-B間を繰り返します。

リスト内の曲は、現在再生している曲を選んだ分類によります。（36ページ）

再生モード

1 **ポップアップメニューから「再生モード」を選択します。**

2 **再生方法を選択します。**

リピートモード

1 **リピートモードを選択します。**

アーティスト名
曲名
▶0:00:10/0:12:34 0001/0123

REPEAT

押すたびにリピートモードが切り替わります。

1曲リピート → 全曲リピート → リピートオフ

A-Bリピートモード

1 **A-Bリピートモードを開始します。**（リピートモードを「オフ」に設定しているとき）

REPEAT

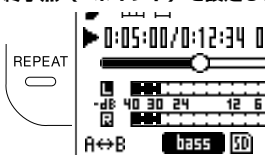
1秒以上

「A」が点滅します。

2 **開始点（Aポイント）を設定します。**

REPEAT

「A」が点灯し、「B」が点滅します。

3 終了点（Bポイント）を設定します。

「A↔B」が点灯します。

次の曲に替わると「A-Bリピート」が解除されます。

4 A-Bリピートを解除します。

「A↔B」表示が消えます。

- A-Bリピート中に曲を替える、または早送り／早戻しするとA-Bリピートは解除されます。
- A-Bリピートモードを開始するには、リピートモードを「リピートオフ」に設定している必要があります。

アイテムスキップ

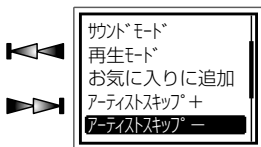
選曲した分類によるアイテム単位で、再生する曲をスキップできます。

アーティストスキップ	アーティスト名で選曲している場合、アーティストスキップで次（+）または前（−）のアーティストの曲に替わります。
アルバムスキップ	アルバムタイトルで選曲している場合、アルバムスキップで次（+）または前（−）のアルバムの曲に替わります。
ジャンルスキップ	ジャンルで選曲している場合、ジャンルスキップで次(+) または前(−)のジャンルの曲に替わります。
リリース年スキップ	リリース年で選曲している場合、リリース年スキップで次（+）または前（−）のリリース年の曲に替わります。

スキップするアイテムは、現在再生している曲を選んだ分類によります。（36ページ）

1 ポップアップメニューを表示します。

再生中の画面で押します。

2 「アーティストスキップ+」または「アーティストスキップ−」を選択します。

曲を選んだ分類により、「アーティストスキップ」、「アルバムスキップ」、「ジャンルスキップ」、「リリース年スキップ」に表示が変わります。

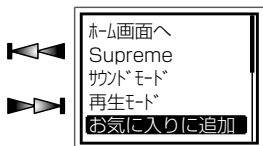
● ホーム画面で「トラック」、「お気に入り」、「フォルダ」および「録音ファイル」から選曲している場合は、アイテムスキップができません。

お気に入りに追加する／削除する

好きな曲をお気に入りに集めておけば、いつでもまとめて聞くことができます。

お気に入りに追加する

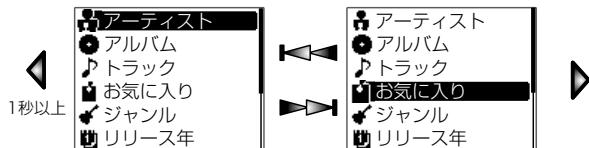
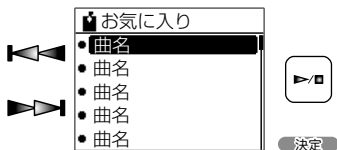
1　**追加したい曲を再生中に、ポップアップメニューを表示します。**

2　**「お気に入りに追加」を選択します。**

再生中の曲がお気に入りに追加されます。

決定

お気に入りを再生する

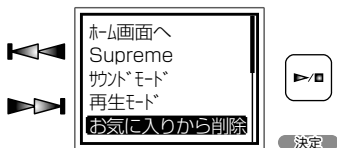
お気に入りの再生順はお気に入りに追加した順になります。

1　**ホーム画面から「お気に入り」を選択します。**

2 曲を選曲します。

選択した曲から再生します。

お気に入りから削除する

1 削除したい曲を再生中に、ポップアップメニューを表示します。

前記の「お気に入りを再生する」を参照して、お気に入りから削除したい曲を再生します。

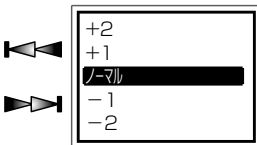
2 「お気に入りから削除」を選択します。

再生中の曲がお気に入りから削除されます。

- お気に入りには30曲まで登録できます。
- 曲を選択するライブラリー画面の曲名のリストからもお気に入りに追加・削除できます。

再生速度を変える

再生する速度を5段階で変えることができます。
また、早送り、早戻しする速度を3段階で変えることができます。

再生速度を変える

1 **ポップアップメニューから「再生速度」を選択します。**

2 **再生速度を選択します。**

+を選択すると再生速度が速くなり、－を選択すると再生速度が遅くなります。

MEMO

● 再生速度は、再生ファイルのサンプリング周波数が44.1 kHzと48 kHzのとき変えることができます。上記以外のサンプリング周波数のファイルを再生すると、再生速度の設定が「ノーマル」に戻ります。

早送り、早戻しする速度を変える

1 **ポップアップメニューから「FF/FB速度」を選択します。**

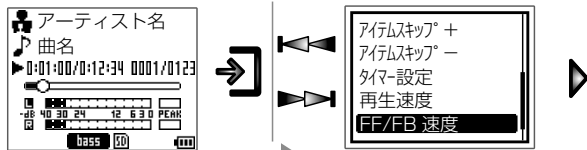
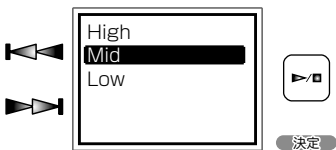
アーティスト名
曲名
0:01:00/0:12:34 0001/0123

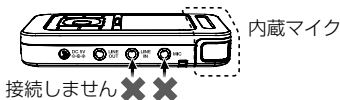
アイテムスキップ＋
アイテムスキップー
タイマー設定
再生速度
FF/FB 速度

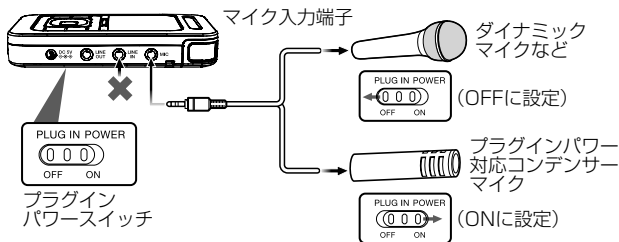
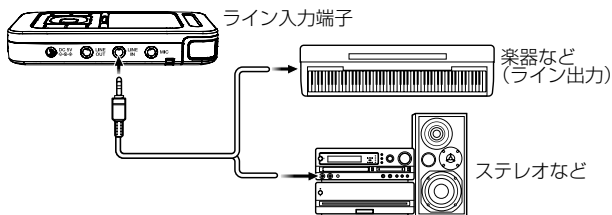
2 **速度を選択します。**

High
Mid
Low

決定

MEMO

● お買い上げ時の状態では、FF/FB速度は「Mid」に設定されています。

マイクやオーディオ機器を接続する

内蔵マイクの他に外部マイクや外部オーディオ機器を接続して、音楽や音声を録音できます。

❶ 内蔵マイクで録音する場合

❷ 外部マイクで録音する場合

❸ 外部オーディオ機器や楽器などライン入力から録音する場合

MEMO

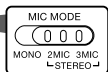
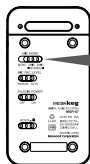
- 接続する外部マイクや外部オーディオ機器の出力端子に合わせて、ステレオ標準プラグやRCAピンプラグからステレオミニプラグへのアダプタなど（市販品）を用意してください。
- 電池内蔵のコンデンサーマイクを接続する場合は、プラグインパワースイッチを「OFF」に設定してください。

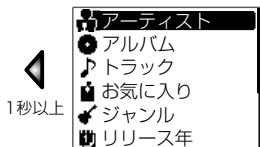
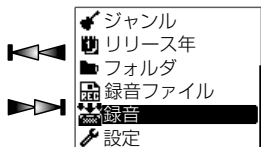
録音モードに切り替える／マイクモードを設定する

内蔵マイクや外部マイク、外部オーディオ機器から録音をします。
また、マイクで録音する場合は、マイクモードを設定します。

❶		MIC MODE MONO 2MIC 3MIC └STEREO┘ (3MIC)	L、R（無指向性）とCENTER（単一指向性）マイクを使ったステレオモードで録音します。周囲の騒音を抑制し、正面方向の指向性を高めた録音が可能です。
		MIC MODE MONO 2MIC 3MIC └STEREO┘ (2MIC)	120度の角度で取り付けられた、LとR（無指向性）マイクを使ったステレオモードで録音します。ステレオ感や広がり感のある録音が可能です。
		MIC MODE MONO 2MIC 3MIC └STEREO┘ (MONO)	CENTER（単一指向性）マイクを使ったモノラルモードで録音します。正面方向に指向性のある録音が可能です。
❷		MIC MODE MONO 2MIC 3MIC └STEREO┘ / MIC MODE MONO 2MIC 3MIC └STEREO┘ (STEREO)	外部のステレオマイクからステレオモードで録音します。
		MIC MODE MONO 2MIC 3MIC └STEREO┘ (MONO)	外部のモノラルマイクからモノラルモードで録音します。
❸	Line	—	ライン入力から録音します。

ライン入力端子やマイク入力端子にケーブルを接続することで録音する音源が替わります。また、内蔵マイクと外部マイクの場合は、本機裏面のマイクモードの設定によってアイコンが替わります。

1 **マイクモードを設定します。（内蔵マイクおよび外部マイクのみ）**

マイク録音で風切り音が入る場合は、録音イコライザー（55ページ）を設定すると軽減できることがあります。また、内蔵マイク場合、マイクモードをモノラル（CENTERマイク）から2MICステレオ（L、Rマイク）に変えると軽減できる場合があります。

2 **ホーム画面から「録音」を選択します。**

録音中の画面

内蔵マイクまたは外部マイクで録音する場合

録音モード表示
（49ページ）

録音ファイル名

録音フォーマット
（54ページ）

保存先
（56ページ）

シンクロ録音
（57ページ）

ディレイ録音
（59ページ）

071201123456.WAV
WAV 44.1
A-Divide
Delay
REC
0:00:00 / -2:00:00
RECLevel
10
L
-dB 40 30 24 12 6 3 0 PEAK
R
noise cut
SD

状態
●：録音中
ıı：一時停止
なし：録音停止中

録音経過時間/
録音可能時間

設定録音レベル
Auto：自動マイク
録音レベル

レベルメーター

電池残量
（28ページ）

HOLDスイッチ
（26ページ）

録音イコライザー
（55ページ）

SDカードの有無
（27ページ）

スリープタイマー /
アラームタイマー
（74ページ）

ライン入力から録音する場合

録音レベルの調整

スピーチなどをマイクで録音する場合は、音全体が均一になるように録音することができます（MIC REC LEVEL)。
入力された最大の音量に合わせて録音レベルを設定する（ALS）または手動で録音レベルを調整します。

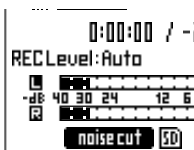
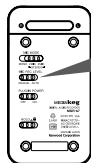
録音する音源により設定できる項目が変わります。

	内蔵マイク	外部マイク	ライン入力
MIC REC LEVEL（マイク録音レベル）機能	○	○	×
自動録音レベル設定（ALS）機能	○	○	○
録音レベルの手動調整	○	○	○
外部マイクのゲイン設定	×	○	×

MIC REC LEVEL（マイク録音レベル）機能

スピーチなどを内蔵マイクまたは外部マイクで録音するとき、音全体をなるべく均一レベルになるように録音します。

AUTO	音全体をなるべく均一レベルにして録音しますので、スピーチなどの録音に適しています。
MANUAL	録音レベルをALS機能または手動で調整します。

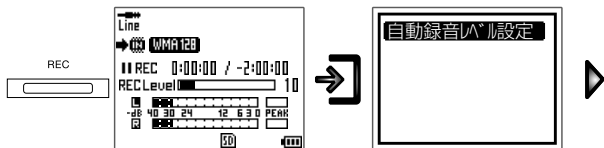
1 **MIC REC LEVELを設定します。**（内蔵マイクおよび外部マイクのみ）

自動録音レベル設定（ALS）機能

入力された最大の音量に合わせて録音レベルが設定されます。
例えば、音楽CDを録音する場合、音量が一番大きくなる部分を再生して、ALS機能で録音レベルを設定すると、最適な録音レベルで録音できます。

1 **録音一時停止中のポップアップメニューから「自動録音レベル設定」を選択します。**

REC

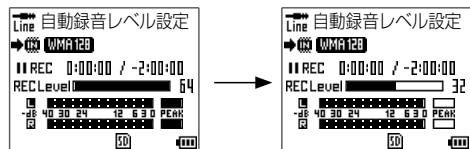
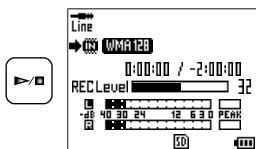
Line
WMA128
REC 0:00:00 / -2:00:00
RECLevel 10
-dB 40 30 24 12 6 3 0 PEAK

自動録音レベル設定

2 **ALSモードになり、入力された最大の音量に合わせて録音レベルが設定されます。**

Line 自動録音レベル設定
WMA128
REC 0:00:00 / -2:00:00
RECLevel 64
-dB 40 30 24 12 6 3 0 PEAK

Line 自動録音レベル設定
WMA128
REC 0:00:00 / -2:00:00
RECLevel 32
-dB 40 30 24 12 6 3 0 PEAK

3 **ALSモードを終了します。**

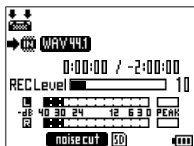
Line
WMA128
0:00:00 / -2:00:00
RECLevel 32
-dB 40 30 24 12 6 3 0 PEAK

ここで REC を押すとALSモードが終了して、録音を開始します。

MEMO

- 内蔵マイクまたは外部マイクのときは、本機裏面の“MIC REC LEVEL”スイッチを“MANUAL”に設定する必要があります。
- 大きな音の直後にALSモードを終了すると録音レベルが調整されていないことがあります。大きな音のあとは2秒くらい経過してからALSモードを終了してください。

録音レベルの手動調整

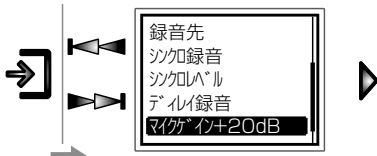
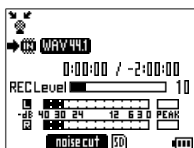
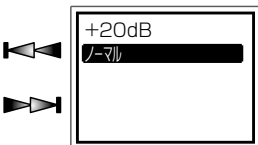
手動で録音レベルを調整します。

1 **録音レベルを調整します。**

レベルメーターを確認して0dBを超えない（PEAKが点灯しない）ように、録音レベルを0 ～ 64の間で調整します。
ボタンを押し続けると、徐々に録音レベルが大きく(I◀◀)/小さく(▶▶I)なります。

- 内蔵マイクまたは外部マイクのときは、本機裏面の“MIC REC LEVEL”スイッチを“MANUAL”に設定する必要があります。
- 自動録音レベル設定（ALS）機能動作中は調整できません。（52ページ）

外部マイクのゲイン設定

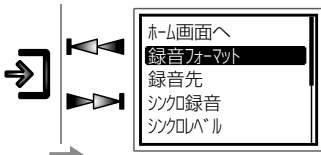
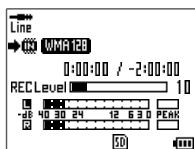
外部マイクの入力感度が低い、または録音レベルを調整しても音量が小さい場合は、入力ゲインを上げて音量を大きくすることができます。

1 **ポップアップメニューから「マイクゲイン+20dB」を選択します。**（外部マイクのみ）

2 **マイクゲインを選択します。**

+20dB	外部マイクの感度が低い、または録音する音が小さい場合に設定します。
ノーマル	通常はこちらに設定します。

録音フォーマットを設定する

ファイルフォーマットやビットレートなど録音する音質を設定します。

表示	フォーマット	説明
WAV 44.1	WAV 44.1kHz	サンプリング周波数44.1kHzの非圧縮で記録します。 音楽CDの作成などの録音に適しています。
WAV 48	WAV 48kHz	サンプリング周波数48kHzの非圧縮で記録します。 ビデオ作品などの音声の録音に適しています。
WMA 64	WMA 64kbps	WMA形式で圧縮して記録します。 長時間録音することができます。
WMA 96	WMA 96kbps	WMA形式で圧縮して記録します。
WMA 128	WMA 128kbps	WMA形式で圧縮して記録します。

1 **ポップアップメニューから「録音フォーマット」を選択します。**

2 **録音フォーマットを選択します。**

- 「WMA 64kbps」、「WMA 96kbps」、または「WMA 128kbps」を選択してマイクで録音する場合、マイクモード（49ページ）を「MONO」設定すると、WMA 32kbpsのモノラル形式で録音します。WMA 32kbpsはWMA 64kbps相当の音質となります。
- お買い上げ時の状態では、録音フォーマットは「WAV44.1 k Hz」に設定されています。

録音イコライザーを設定する

内蔵マイクまたは外部マイクで録音するときに、周囲の雑音を軽減するなど、録音する音に合わせてイコライザーを設定できます。

	オフ	イコライザー効果のない、そのままの音を録音します。
music	ミュージック	音楽演奏の録音に最適な、自然で広がりのある録音が可能です。
vocal	ボーカル	音楽で、特に中音域のヴォーカル部分にフォーカスした録音が可能です。
voice	ボイス	会議など、話している人の声を広範囲に集音できます。
noise cut	ノイズカット	エアコンやダクトの音などの暗騒音を抑えた録音が可能です。
low cut 1	ローカット1	低音ノイズをカットします。
low cut 2	ローカット2	ローカット1より広範囲の低音ノイズをカットします。

1 **録音イコライザーを選択します。**（内蔵マイクおよび外部マイクのみ）

押すたびに録音イコライザーが切り替わります。

録音する

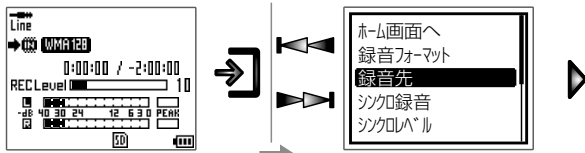
録音ファイルの保存先を設定する

録音ファイルの保存先を設定します。

➡	内蔵メモリ	内蔵メモリに録音ファイルを保存します。
➡	SDカード	SDカードに録音ファイルを保存します。

1 **ポップアップメニューから「録音先」を選択します。**

2 **保存先を選択します。**

録音する

音楽や音声に合わせて録音を開始するシンクロ録音

音楽や音声が始まると自動的に録音を開始させるか、または録音ファイルを分けることができます。

オフ	シンクロ録音しません。
A-Sync オートシンク	音楽が始まると自動的に録音を開始し、無音状態が2秒続くと一時停止します。録音の開始とともに新しい録音ファイルになります。
A-Divide オートデバイド	音楽の始まりで自動的に録音ファイルを分割します。

1 **ポップアップメニューから「シンクロ録音」を選択します。**

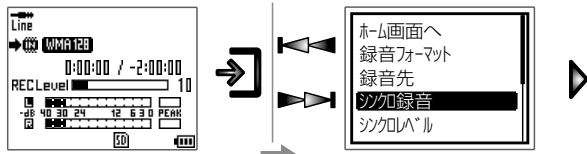
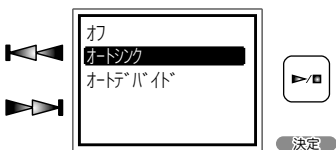
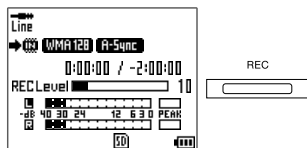
2 **シンクロモードを選択します。**

オフ
オートシンク
オートデバイド

決定

3 **録音を開始します。**

Line
WMA128 A-Sync
0:00:00 / -2:00:00
RECLevel 10

REC

60ページをご覧ください。

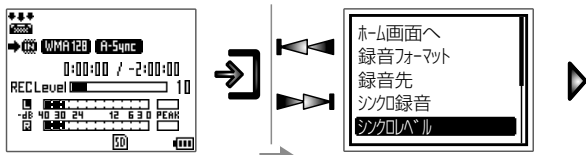
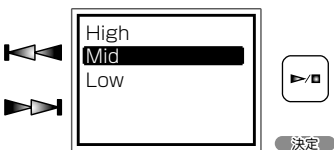
MEMO
- シンクロ録音をオンに設定しただけでは録音されません。
- お買い上げ時の状態では、シンクロ録音は「オフ」に設定されています。
- 音楽や音声の始まりの検出は、無音状態が2秒以上続いたあとの音を検出します。
- 内蔵マイクおよび外部マイクのときは、音楽や音声の始まりを検出するレベルを調整することができます。(58ページ)

シンクロ録音の検出レベルを設定する

内蔵マイクまたは外部マイクでは、シンクロ録音で録音を開始するレベルを設定します。

お買い上げ時の状態では、シンクロレベルは「Low」に設定されています。周囲の雑音が多い（無音状態にならない）場合は、シンクロレベルを「Mid」、「High」と設定を変えてください。

High	周囲の雑音が多いときなど、大きめの音で音楽の始まりを検出します。
Mid	：
Low	小さな音で音楽の始まりを検出します。

1 **ポップアップメニューから「シンクロレベル」を選択します。**（内蔵マイクおよび外部マイクのみ）

2 **シンクロレベルを選択します。**

設定時間後に録音を開始するディレイ録音

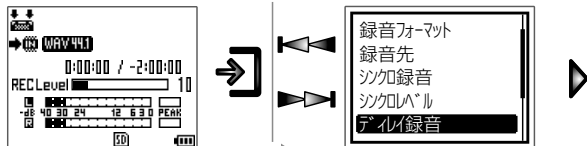
内蔵マイクまたは外部マイクで録音するとき、操作音などが入ってしまう場合、録音ボタンを押したあと、実際に録音を開始するまでの時間を設定します。

1 **ポップアップメニューから「ディレイ録音」を選択します。**（内蔵マイクおよび外部マイクのみ）

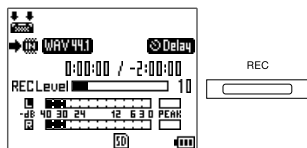
録音フォーマット
録音先
シンクロ録音
シンクロレベル
ディレイ録音

2 **動作時間を指定します。**

オフ
5 秒
10 秒
30 秒
60 秒

決定

5秒、10秒、30秒、60秒で設定できます。

3 **録音を開始します。**

REC

60ページをご覧ください。

- 手順2で「オフ」を選択すると、ディレイ録音をオフにできます。
- お買い上げ時の状態では、ディレイモードは「オフ」に設定されています。

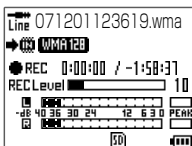
音楽や音声を録音する

マイクやオーディオ機器の音楽や音声を録音します。

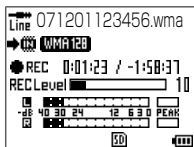
3

録音を一時停止するときは…

もう一度押すと録音を開始します。

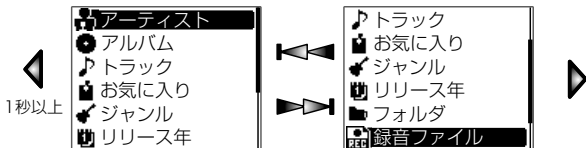
4 **録音ファイルを分けるときは…**

新しい録音ファイルに録音を続けます。
録音ファイルが変わるときは音が途切れる場合があります。

5 **録音を終了します。**

MEMO

- 1つの録音ファイルとして録音できる時間は、最長2時間までです。
  録音最長時間を超えた場合は、新しい録音ファイルに録音を続けます。録音ファイルが変わるときは音が途切れる場合があります。
- 録音中に一時停止しても、録音ファイルは分割されません。
- 録音ファイル名は、録音を開始したときの日時になります。
- 録音ファイルを削除することもできます。（68ページ）
- 録音ファイルの再生は、ホーム画面の「録音ファイル」から選曲します。（62ページ）
- 録音ファイルをパソコンにコピーすることができます。録音ファイルは下記のフォルダ内に保存されています。
  内蔵メモリ：「コンピュータ」－「KENWOOD_DAP」－「RECORD」フォルダ内
  SDカード：「コンピュータ」－「(SDカード)」－「KWD」フォルダ内

録音した音楽や音声を聞く

マイクおよびライン入力から録音した音楽や音声を再生します。
再生する順番は、ファイル名（録音開始日時）順になります。

1 **ホーム画面から「録音ファイル」を選択します。**

アーティスト
アルバム
トラック
お気に入り
ジャンル
リリース年

1秒以上

トラック
お気に入り
ジャンル
リリース年
フォルダ
録音ファイル

2 **マイクとラインのどちらで録音したか選択します。**

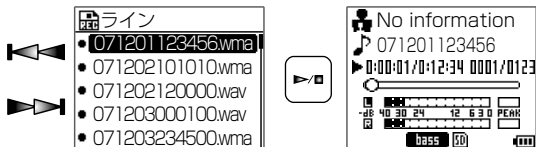
録音ファイル
• ライン
• マイク

ここで ►/■ を押すとラインまたはマイク内の先頭の録音ファイルから再生します。

3 **録音ファイルを選択します。**

ライン
• 071201123456.wma
• 071202101010.wma
• 071202120000.wav
• 071203000100.wav
• 071203234500.wma

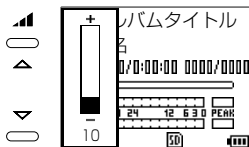
►/■

No information
071201123456
► 0:00:01/0:12:34 0001/0123
L
-dB 40 30 24 12 6 3 0 PEAK
R
bass SD

● SDカードを挿入している場合は、内蔵メモリとあわせてSDカード内の曲を表示します。
● パソコンで録音ファイルのファイル名を変更すると、「録音ファイル」から選択できなくなります。

音量や音質を調整する

音量を調整する

音量を調整します。

音量レベルを選択します。

ボタンを押し続けると、徐々に音量が大きく(△)/小さく(▽)なります。

音質を調整する（サプリーム、サウンドモード）

音質（音響効果）を9種類から選択できます。

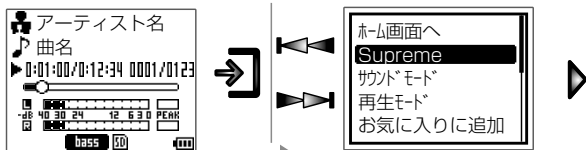
Supreme（サプリーム）

SP	オン	ケンウッド独自の音質向上技術で、MP3 ／ WMA（44.1kHz）で圧縮時に失われた高音域を補間してリアルなサウンドを創ります。

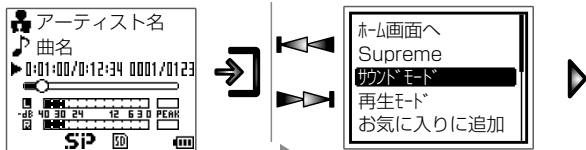
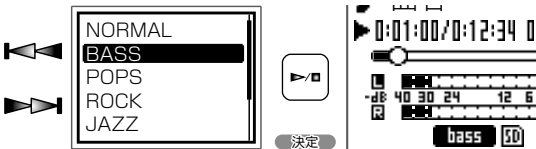
サウンドモード

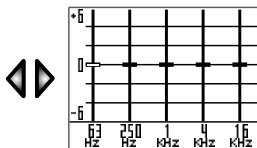
	NORMAL	通常の音質で再生します。
bass pops rock jazz dance voice	BASS/ POPS/ ROCK/ JAZZ/ DANCE/ VOICE	お好みの音質を選べます。
custom	カスタムサウンド	5バンドカスタムイコライザでお好みの音質を設定できます。

Supreme（サプリーム）

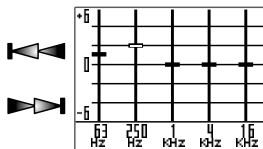
1 ポップアップメニューから「Supreme」を選択します。

2 サプリームを設定します。

サウンドモード

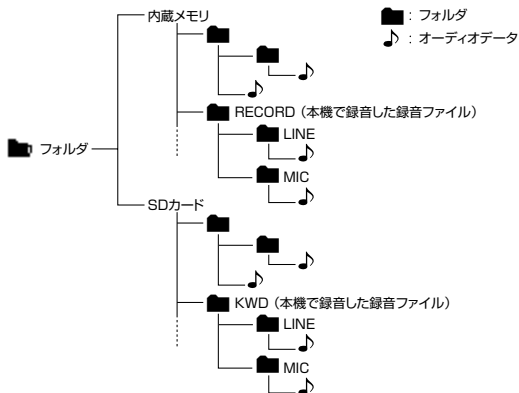
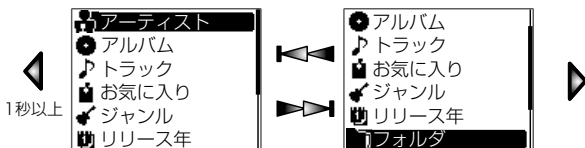
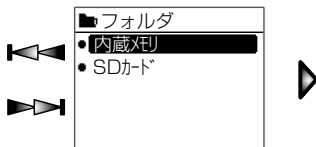
1 ポップアップメニューから「サウンドモード」を選択します。

2 音質を選択します。

「カスタムサウンド」を選択した場合は…

3 **バンドを選択します。**

4 **レベルを設定します。**

5 **決定します。**

MEMO

- 音量の上げすぎには十分ご注意ください。
- お買い上げ時の状態では、Supremeは「オフ」、サウンドモードは「NORMAL」に設定されています。
- Supremeとサウンドモードを同時に使用することはできません。

ファイルを選んで聞く

本機に保存されているファイルのリストを表示します。

1 **ホーム画面から「フォルダ」を選択します。**

2 **内蔵メモリかSDカードか選択します。**

3 **下の階層のフォルダを選択します。**

フォルダ内のファイルやフォルダが表示されます。

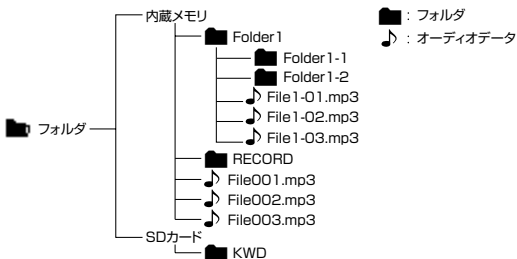
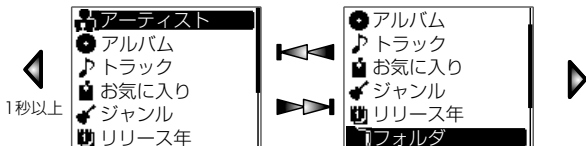
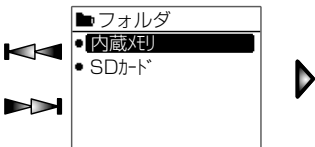
ここで ►/■ を押すと選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。

4 **ファイルを選択すると再生します。**

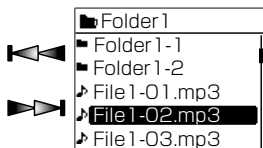
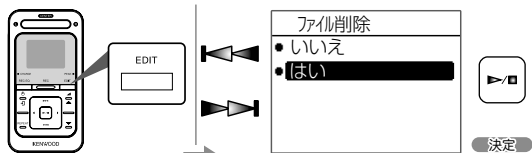
フォルダ内の選択した曲から再生します。
下位階層のフォルダがある場合は、フォルダ内のファイルも再生します。

- 「フォルダ」内のフォルダ構成は使用状況によって異なり、階層数も一定ではありません。このため、ファイルのリストを表示するときには、フォルダの階層に合わせて、手順3の操作を繰り返す必要があります。
- 再生する順番は、フォルダごとにファイル名の名前順（ユニコード順）になります。

曲を削除する

本機内のファイルを削除できます。

1 **ホーム画面から「フォルダ」を選択します。**

2 **内蔵メモリかSDカードか選択します。**

3 **削除するファイルを選択します。**

「フォルダ」内のフォルダ構成は使用状況によって異なり、階層数も一定ではありません。このため、ファイルのリストを表示するときには、フォルダの階層に合わせて、手順3の操作を繰り返す必要があります。

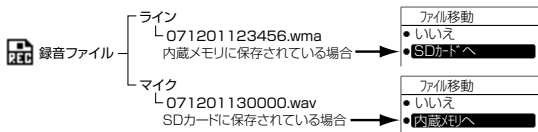
4 削除するファイルにカーソルを合わせます。

5 エディットメニューから「はい」を選択します。

● ホーム画面の「フォルダ」から入って、ファイルを選択した場合にのみ、削除できます。

● フォルダを削除することはできません。

● SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると、ファイルを削除することはできません。（15ページ）

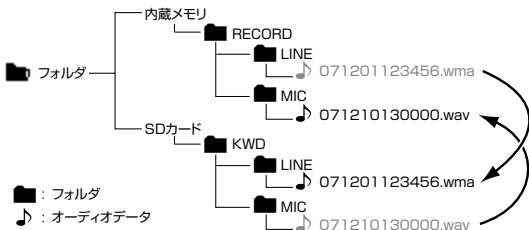
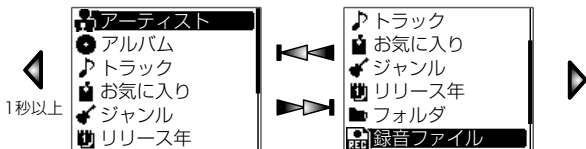
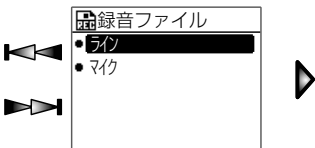
ファイルを管理する

録音ファイルを移動する

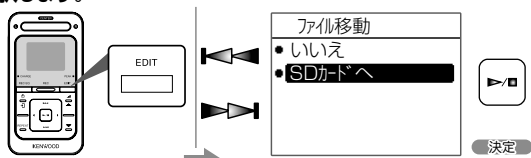
本機で録音したファイルは、内蔵メモリとSDカードの間で移動することができます。ファイルを移動すると元のファイルは削除されます。

ホーム画面の「フォルダ」から録音ファイルを確認する場合

1 **ホーム画面から「録音ファイル」を選択します。**

2 **マイクとラインのどちらで録音したか選択します。**

ファイルを管理する

3 **移動する録音ファイルを選択します。**

移動するファイルにカーソルを合わせます。

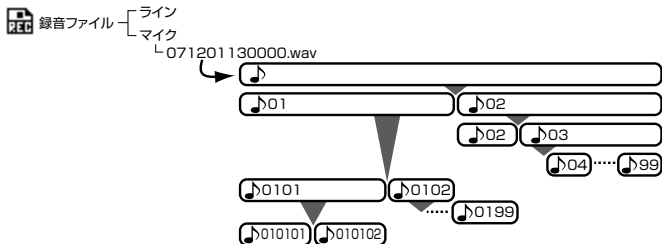
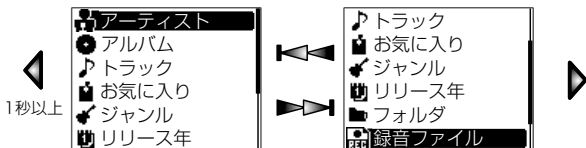
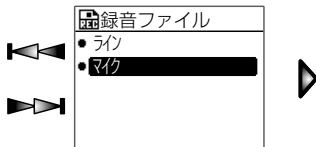
4 **エディットメニューから「SDカードへ」または「内蔵メモリへ」を選択します。**

- ホーム画面の「録音ファイル」から入って、録音ファイルを選択した場合にのみ、移動できます。
- 録音ファイルの移動は、指定フォルダの間で移動します。ホーム画面の「フォルダ」からファイルを確認する場合は下記の位置になります。
  ライン:「内蔵メモリ」-「RECOED」-「LINE」⇄「SDカード」-「KWD」-「LINE」
  マイク:「内蔵メモリ」-「RECOED」-「MIC」⇄「SDカード」-「KWD」-「MIC」
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると、ファイルを移動することはできません。（15ページ）

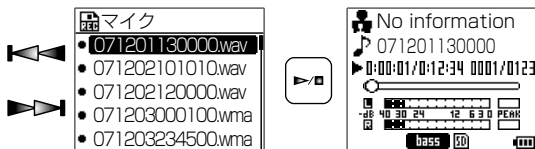
録音ファイルを分割する

本機で録音したWAV形式のファイルに番号を追加して、音楽や音声を分割することができます。

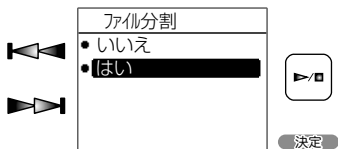
1 **ホーム画面から「録音ファイル」を選択します。**

2 **マイクとラインのどちらで録音したか選択します。**

ファイルを管理する

3 分割する録音ファイル（.wav）を再生します。

4 録音ファイルを分割します。

EDITボタンを押した位置でファイルを分割します。

5 エディットメニューから「はい」を選択します。

決定

- ホーム画面の「録音ファイル」から入って、WAV形式の録音ファイルを選択した場合にのみ、録音ファイルを分割できます。
- WMA形式の録音ファイルでは分割することができません。
- 録音ファイルを分割するとファイル名に数字を追加します。“01”から“99”まで分割できます。分割した前半のファイルを再度分割すると、“0101”のように2桁の数字が追加されます。前半のファイルは“010101”のように3回まで分割できます。
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると、ファイルを分割することはできません。（15ページ）

スリープタイマーとアラームタイマー

スリープタイマーを使うと、設定時間後に本機の電源をオフにできます。
また、アラームタイマーを使うと、設定時間後にアラーム（ビープ音）を鳴らすことができます。

1 **再生中または録音停止中のポップアップメニューから「タイマー設定」を選択します。**

アーティスト名
曲名
0:01:00/0:12:34 0001/0123

再生モード
お気に入りに追加
スキップ＋
スキップ－
タイマー設定

2 **設定するタイマーを選択します。**

オフ
スリープタイマー
アラームタイマー

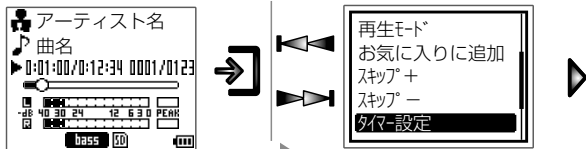
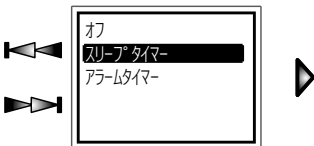
スリープタイマーの場合は…

3 **動作時間を指定します。**

スリープタイマー
120 分後

決定

1分から180分の間から1分間隔で設定できます。

いろいろな設定や調整

アラームタイマーの場合は…

3 **動作時間を指定します。**

決定

1分から180分の間から1分間隔で設定できます。

- 手順2で「オフ」を選択すると、タイマーをオフにできます。
- スリープタイマーとアラームタイマーの両方を同時に使用することはできません。
- アラームタイマーで鳴っているアラームは、どれかボタンを押すと止まります。
- 電源を切るとタイマーの設定は解除されます。

各種の設定

画面の明るさの調整、オートパワーオフなど、お好みに合わせて設定できる機能があります。

1 **ホーム画面から「設定」を選択します。**

1秒以上

2 **設定項目を表示します。**

たとえば、ディスプレイの明るさを暗くするときは「バックライト輝度」を選択し、設定項目を表示します。

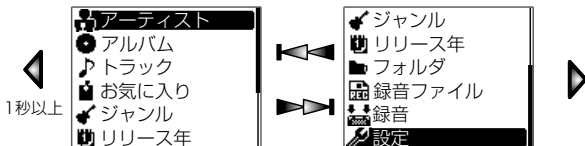
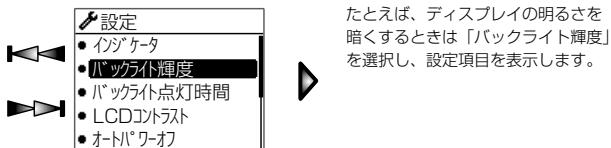
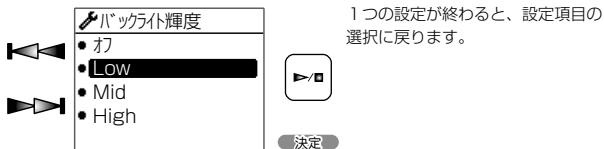
3 **設定を行います。**

決定

1つの設定が終わると、設定項目の選択に戻ります。

MEMO

● 設定中に ◁ を押すと前の項目や画面に戻ります。

いろいろな設定や調整

設定できる項目

● インジケータ

RECおよびPEAKインジケータを赤く点灯するか設定します。

オン*、オフ

● バックライト輝度

表示する画面の明るさを選びます。

オフ	消灯
Low	暗い
Mid*	⋮
High	明るい

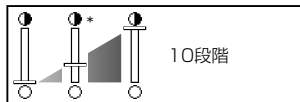
● バックライト点灯時間

操作をしていないとき、ディスプレイのバックライトを消すまでの時間を選びます。

5秒、10秒*、30秒、60秒、常に点灯

● LCDコントラスト

画面の濃さを調整します。

10段階

● オートパワーオフ

再生していない状態で操作をしないまま、ここで設定した時間が過ぎると、電源がオフになります。

3分、5分*、10分、30分

● 操作確認音（ビープ）

ボタンを操作したときの操作確認音を鳴らすか設定します。

オン*、オフ

● 言語

ディスプレイに表示するメニューなどの言語を選びます。（82ページ）

日本語*、ENGLISH、DEUTSCH、FRANCAIS、ESPAÑOL、ITALIANO、NEDERLANDS

● フォーマット

内蔵メモリまたはSDカードをフォーマットします。（78ページ）

● 優先ドライブ

USB接続時に優先するドライブを設定します。（80ページ）

● 時計合わせ

日付と時計を合わせます。（24ページ）

録音ファイル名の日時に必要です。

● 設定リセット

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。（78ページ）

● システム情報

本機のシステム情報（モデルID、ファームウェアバージョン、メモリ空き容量、メモリ総容量、総ファイル数）がディスプレイに表示されます。

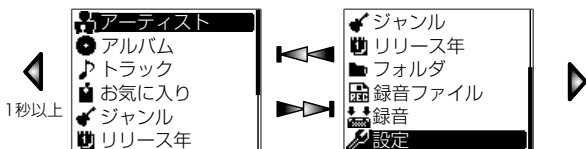
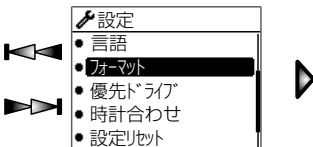
システム情報の表示を消す場合は、メニューボタンまたはプレイ/ストップボタンを押します。

（*印はお買い上げ時の設定です）

フォーマットする／設定をリセットする

本機に保存されている音楽ファイルなどをすべて削除する場合は、フォーマットを行ってください。
また、設定メニューなどで行った本機の設定をお買い上げ時の状態に戻したい場合は、設定リセットを行います。

《注意》
- フォーマットはすべてのファイルを削除します。デモ曲も削除されて戻すことができません。設定メニューの状態は消えません。
- 設定リセットは設定メニューをお買い上げ時の状態に戻します。音楽データなどは消えません。
- いったんフォーマットしたメモリの内容は元に戻せません。間違いのないように慎重に操作してください。

1 **ホーム画面から「設定」を選択します。**

2 **「フォーマット」または「設定リセット」を選択します。**

フォーマットの場合は…

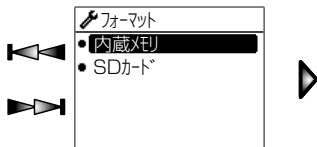
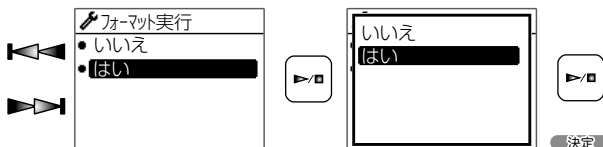
3 **内蔵メモリかSDカードか選択します。**

フォーマット
● 内蔵メモリ
● SDカード

4 **「はい」を選択します。**

フォーマット実行
● いいえ
● はい

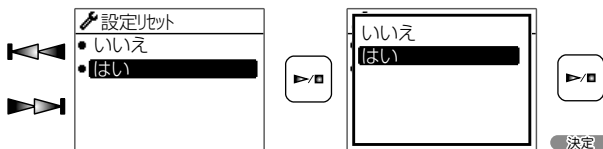
いいえ
はい

決定

設定リセットの場合は…

3 **「はい」を選択します。**

設定リセット
● いいえ
● はい

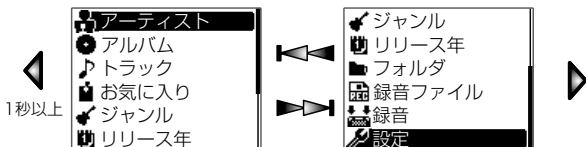
いいえ
はい

決定

- 本機を設定リセットしても、本機に保存されている曲は削除されません。曲の個別の削除（68、35ページ）や本機のフォーマットを行ってください。
- パソコンを使用した、本機のフォーマットはしないでください。
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると、フォーマットすることはできません。（15ページ）

優先ドライブを設定する

本機をUSB接続すると、内蔵メモリとSDカードは別ドライブとして認識されます。
USB対応ステレオに接続した際、内蔵メモリまたはSDカードのどちらか一方しか認識できない場合は、優先ドライブを変えることで、もう一方のドライブを認識できます。

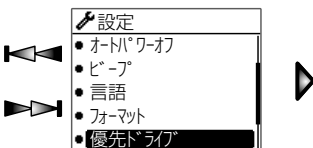
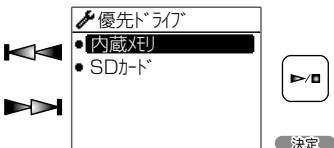
《注意》
- パソコンなど両方のドライブを認識できる場合、設定を変更すると表示されるドライブの順番が変わります。

1　ホーム画面から「設定」を選択します。

2　「優先ドライブ」を選択します。

3　内蔵メモリかSDカードか選択します。

優先ドライブ
内蔵メモリ
SDカード

決定

MEMO

● お買い上げ時の状態では、優先ドライブは「内蔵メモリ」に設定されています。

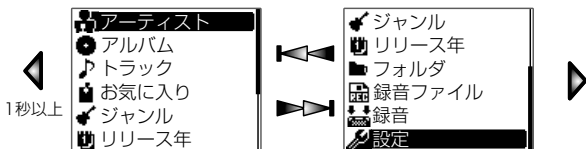
メニュー言語を設定する

ディスプレイに表示する言語を選びます。

1 **ホーム画面から「設定」を選択します。**

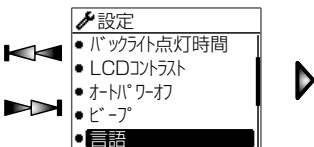
1秒以上

アーティスト
アルバム
トラック
お気に入り
ジャンル
リリース年

ジャンル
リリース年
フォルダ
録音ファイル
録音
設定

2 **「言語」を選択します。**

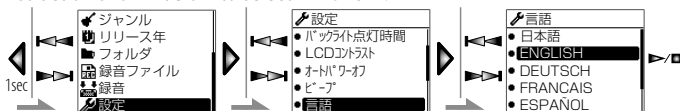
3 **目的の言語を選択します。**

決定

MEMO

- 誤って言語を設定した場合は下記の項目から言語を設定し直してください。
  Settings > Language
  Einstellung > Sprache
  Réglages > Langue
  Ajustes > Idioma
  Configurazione > Lingua
  Instellingen > Taal

Operating instructions

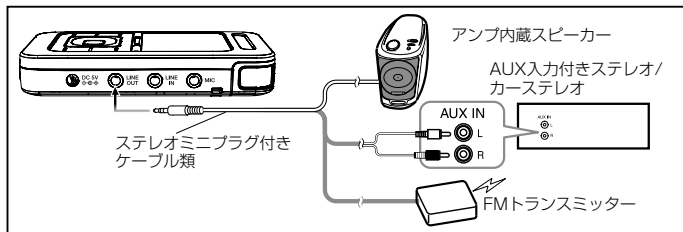
Setting the display language to English

Press the menu button to show the home screen. And then follow the instruction shown below to select "ENGLISH".

Function of each button

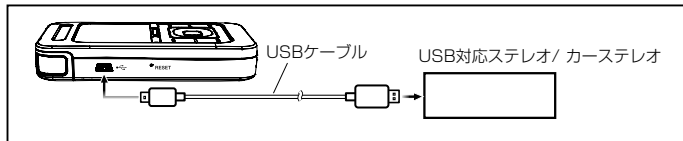
Button	When in play mode of music files	
►/■	**Play mode:** Lets playback pause temporarily.	**Pause mode:** Resumes playback.
|◄◄	**Play mode:** Each press skips to the beginning of the current track (Skip-down). Press and hold to fast reverse the track.	**Pause mode:** Each press skips to the beginning of the current track (Skip-down). Press and hold to skip to the previous tracks one after another.
►►|	**Play mode:** Each press skips to the beginning of the next track (Skip-up). Press and hold to fast forward the track.	**Pause mode:** Each press skips to the beginning of the next track (Skip-up). Press and hold to skip to the subsequent tracks one after another.
REPEAT	**Press briefly:** Each press switches the repeat mode.	**Pressing and holding for more than 1 sec.:** Sets an A-B repeat point.
⏻	Press and hold to switch the power ON/OFF. Display the pop-up menu. Press when the backlight is off to turn it on.	
◁	Displays the previous list. Returns to the home screen.	

外部機器との接続について

ライン出力端子を使うと、アンプ内蔵スピーカーなどの外部機器と接続することができます。
USB端子を使って、USB接続に対応したステレオに接続することができます。

ライン出力（LINE OUT）端子に接続するとき

MEMO

- ライン出力を使用すると、サウンドモードは「NORMAL」になります。（63ページ）
- 接続する外部機器の入力端子に合わせて、オーディオケーブル（市販品）を用意してください。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。
- FMトランスミッターをご使用の場合は、車種や周辺機器、アンテナの位置など設置環境によって、ノイズが発生することがあります。

USB端子に接続するとき

※ USB接続が可能なケンウッド製USB対応ステレオ機種については、「http://www.kenwood.co.jp/j/info_usb_connection.html」をご覧ください。

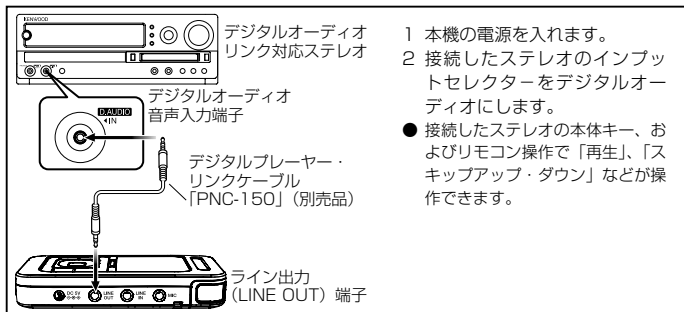
- 操作方法や再生できるファイルについては、接続したステレオの取扱説明書をご覧ください。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。
- 内蔵メモリとSDカードは別ドライブとして認識します。USB対応ステレオでドライブを選択できない場合は、「優先ドライブ」を変更してください。（80ページ）
- ステレオの電源を切る、セレクタを切り替える、またはUSBケーブルを抜くとUSB接続が解除され、本機はデータベースの更新を行います。ステレオに再度USB接続するときは、データベースの更新が終了してから行ってください。

デジタルオーディオプレーヤーリンクについて

本機をデジタルオーディオプレーヤーリンク対応のケンウッド製オーディオ機器と接続すると、本機での再生を外部オーディオ機器から操作できます。

1 本機の電源を入れます。

2 接続したステレオのインプットセレクターをデジタルオーディオにします。

● 接続したステレオの本体キー、およびリモコン操作で「再生」、「スキップアップ・ダウン」などが操作できます。

※ デジタルオーディオプレーヤーリンク対応ステレオ機種
：AX-D7、CLK-5i、CLK-7i、CR-A7USB、ES-A5MD、MDX-L1、NDL-100、NDL-100MD、RD-UDA55、R-K1、R-K1000、R-K711、R-K801、SV-3MD、UD-A55、UD-A77（2008年1月現在）

※ デジタルオーディオプレーヤーリンクでは録音できません。ライン入力を使って録音するか、USB接続で曲を転送してください。

● デジタルオーディオプレーヤーリンクの詳細や操作方法については、デジタルオーディオプレーヤーリンク対応オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

● 「フォルダスキップ」操作を行うと、本機のアイテムスキップ動作になります。（43ページ）

定格

内蔵フラッシュメモリー *[1]
：2 GB

ヘッドホン出力
：3.5 mm ステレオミニジャック
：6.0+6.0 mW/16Ω

ライン出力
：3.5 mm ステレオミニジャック
：700+700 mV/10kΩ

インターフェース
：USB 2.0（USB 1.1 互換）

ディスプレイ（表示画面）
：1.5 型モノクロ液晶ディスプレイ
（128×96ドット）

収録曲数の目安
：約450曲（内蔵メモリに128kbpsのMP3/WMA形式で1曲約4分の場合）

本体寸法（幅×高さ×奥行）
：52.7 mm×100.0 mm×18.0 mm

重量
：約95 g

使用温度範囲
：5℃～ 35℃（ただし結露しないこと）

内蔵電池
：リチウムイオン充電池

充電時間
ACアダプター：約3時間
USB：約3.5時間

電池持続時間 *[2]

連続再生時間（内蔵メモリ）
WAV (44.1kHz)：約19時間
MP3 (128kbps)：約19時間
WMA (128kbps)：約19時間

録音時間（内蔵マイク、内蔵メモリ）
WAV (44.1kHz)：約12.5時間
WMA (128kbps)：約12.5時間

録音フォーマット
：WAV（44.1/48 kHz、16 bit、モノラル/ステレオ）
：WMA（44.1 kHz、64/96/128 kbps、ステレオ）
：WMA（44.1 kHz、32 kbps、モノラル）

最大録音時間（他のファイルがないとき）

録音フォーマット		WAV		WMA		
		48 kHz	44.1 kHz	128 kbps	96 kbps	64 kbps
内蔵メモリ		2h40m	2h54m	32h	42h	64h
SDカード	8G	10h40m	11h36m	128h	168h	256h
	4G	5h20m	5h48m	64h	84h	128h
	2G	2h40m	2h54m	32h	42h	64h
	1G	1h20m	1h27m	16h	21h	32h

（単位：h=時間、m=分）

* 表記はステレオの場合の目安です。
* 連続録音時は、2時間ごとにファイルが分割されます。

AC アダプター（AC-050150A）

電源
：AC100-240V（50/60 Hz）*[3]

定格入力容量
：0.2A 13W

定格出力
：DC5V 1.5A

再生フォーマット

MP3

拡張子：.mp3
サンプリングレート
：22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、
44.1 kHz、48 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps
可変ビットレート*4：32 ～ 320 kbps
ID3タグ：ver. 2.2、2.3、2.4

WMA

拡張子：.wma
サンプリングレート
：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps
可変ビットレート*4：32 ～ 355 kbps
（Professional、Lossless、Voiceには
対応していません。）

WAV（リニアPCM）

拡張子：.wav
サンプリングレート
：22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、
44.1 kHz、48 kHz
ビット数：8 bit、16 bit
チャンネル：ステレオ、モノラル

SD カード *5

対応SDカード
：SDカード、SDHCカード、miniSD™カード、
miniSDHC™カード、microSD™カード
（SDオーディオフォーマットで録音された
データは再生できません。）

必要なパソコンのシステム構成 *6

OS：Microsoft® Windows Vista™
Ultimate/ Business/
Home Premium/ Home Basic
Microsoft® Windows® XP
Professional/ XP Home Edition
（日本語版。64ビットOSには対応し
ていません。）
USB端子：USB 1.1/2.0 規格に準拠

- これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

*1 実際に使用可能な領域は、システムファイル領域があるため表記の容量より少なくなります。

*2 連続再生時間は、付属のヘッドホン使用、サプリーム「オフ」、サウンドモード「NORMAL」のときの目安です。
保証する時間ではありません。周囲の温度や使用状況よって短くなる場合があります。
SDカードによっては、電池の持続時間が短くなる場合があります。

*3 付属品の電源コードは国内向けです。
本機を外国で使用するときは、その国の規格に適合した電源コードをお使いください。

*4 可変ビットレート（VBR：Variable Bit Rate）のオーディオデータは、ビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

*5 本機は、SD規格およびSDHC規格に準拠したSD/SDHCメモリーカードの記録・再生に対応していますが、すべてのSD/SDHCメモリーカードの動作互換を保証するものではありません。

*6 適合するすべての環境について動作保証するものではありません。
OSがプリインストールされたパソコンをご使用ください。OSをアップグレードしたパソコンや自作パソコンでの動作保証はいたしません。

廃棄時のご注意

内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中にいれない

発熱・破裂・発火によって火災の原因となります。

内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない

火災・破裂・発熱の原因となります。

内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼る

電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない

けが・事故の原因となります。

内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

そのままにしておくと、目に障害がおきる原因となります。

内蔵電池のリサイクル

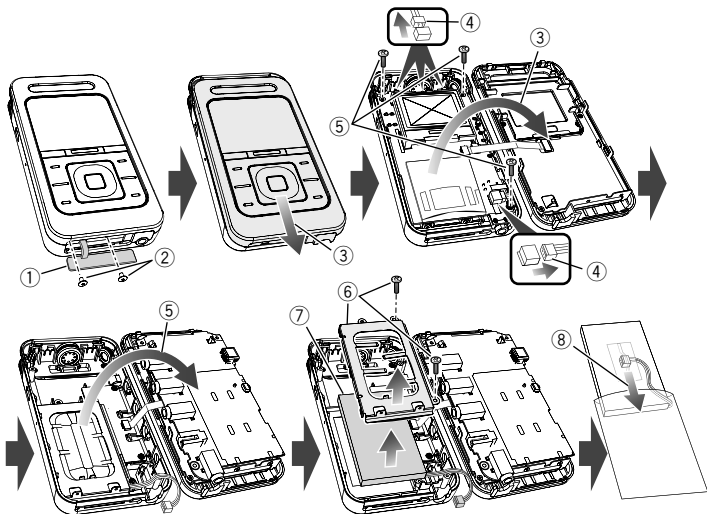
本機の内蔵電池は、リチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な資源です。
本機を廃棄する際には、内蔵電池を取り出し、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関する情報：

有限責任中間法人 JBRC
ホームページ： http://www.jbrc.com

廃棄時の内蔵電池の取り外しかた

重要：廃棄をするとき以外は、本機を絶対に分解しないでください。内蔵電池を取り外すときは必ず電池のコネクター部から取り外し、コードを切らないでください。ショートし破裂・発火のおそれがあります。

1 カードふたを開きます。
2 精密ドライバー (+)を使用してビスを2本、取り外します。
3 本機正面のケースをスライドさせてから取り外します。
4 内蔵電池のコネクターを1カ所、マイクのコネクターを3カ所、取り外します。
5 精密ドライバー (+)を使用してビスを3本外して、基板を取り外します。
6 精密ドライバー (+)を使用してビスを2本外して、内蔵電池の取付金具を取り外します。
7 内蔵電池を取り出します。
8 取り外した内蔵電池は、コードのコネクター部をテープでおおうようにして内蔵電池に貼り付け、ポリ袋などに入れます。

MEMO
- 内蔵電池は完全に消耗したことを確認してから、取り外してください。
- 一度取り出した内蔵電池は、再度コネクターに接続しないでください。
- 取り出した内蔵電池はなるべく早めに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

用語解説

MP3：

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEG が制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10 から1/12 の圧縮率（128 kbps時）が得られます。

MSC（マスストレージクラス）：

大容量記憶装置として分類されるUSBの機器タイプのことです。ハードディスクやCDドライブのような大容量の記憶装置を「USBマスストレージクラス」と呼びます。
このような機器をパソコンに接続すると、パソコン側からはちょうどリムーバブル ディスクのように見え、通常のドラッグ&ドロップ操作でファイルを簡単にやり取りすることができます。

Supreme（サプリーム）：

MP3やWMAなどオーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し補間することで、リアルなサウンドを蘇らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

USB：

パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。
本機はUSB 1.1、2.0に対応しています。

WAV：

Windowsの標準的な非圧縮音声形式です。

WMA（Windows Media Audio）：

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

WMP（Windows Media Player）：

Microsoft社が無償で配布しているマルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアです。動画や音声の再生に使います。
現在は機能が多機能化し、ジュークボックス機能や音楽作成機能、リッピング（CDからの音楽取り込み）機能などを装備しています。

タグ情報：

タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、オーディオファイルに書き込まれている情報です。

リッピング：

音楽CDなどのデジタルデータをパソコンに取り込むことです。

故障かな？と思ったら

電源が入らない、時々電源が落ちる、正しく表示されないなど、故障と思われるような症状が発生した際には、リセットボタン（19ページ）を押してください。
ホームページのサポート情報もご覧ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

症状	対策
電源が入らない、ボタンを押しても操作できない。	ホールド機能がオンになっています。 裏面のHOLDスイッチでホールド機能を解除してください。（26ページ）
	バッテリの残量が無くなっています。 本体と付属のACアダプターを接続してバッテリを充電してください。（28ページ）
	電源ボタンは電源が入るまで押し続けてください。
	パソコンと接続中です。 本機をパソコンに接続しているときは、本機の操作ができません。
充電してもすぐに残量がなくなる。	バッテリが劣化しています。 新しい内蔵電池に交換してください。 なお、バッテリの交換についてはお買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。
音が聞こえない。	ヘッドホンが正しく接続されていません。 ヘッドホンと本体を正しく接続してください。
充電できない。	USBケーブルが正しく接続されていません。 本機側とパソコン側のコネクタを確認してください。
	使用温度の範囲をはずれています。 使用温度の範囲内で充電してください。（86ページ）
パソコンが本機を認識しない。	USBケーブルに不具合があります。 USBケーブルを変えて接続してください。
	パソコンと正しく接続されていません。 パソコンと本機の接続を確認してください。
SDカードに録音できない、移動や削除ができない。	SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている。 SDカードの書き込み禁止を解除してください。（15ページ）

症状	対策
外部マイクで録音できない。	プラグインパワースイッチをオフ設定している。 プラグインパワー対応のコンデンサーマイクは電源の供給が必要です。プラグインパワースイッチをオンに設定してください。（48ページ）
	ライン入力端子にプラグを接続している。 ライン入力端子には何も接続しないでください。（48ページ）
内蔵マイクで録音できない。	ライン入力端子またはマイク入力端子にプラグを接続している。 ライン入力端子とマイク入力端子には何も接続しないでください。（48ページ）
外部マイクの録音で左側（Lch）からしか聞こえない。	外部マイクにモノラルマイクを接続している。 モノラルマイクを接続した場合は、マイクモードを“MONO”に設定してください。（49ページ）
「しばらくお待ちください」表示が消えない。	本機のファイルシステムに異常が発生している。 本機を強制フォーマットしてください。（94ページ）
「データベースの更新中」表示が消えない。	SDカードに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。 最初にSDカード内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されていると、再生するまで長時間かかる場合があります。
起動時に前回の状態を覚えていない。 レジューム機能が働かない。	SDカードを挿入している。 SDカードを挿入していると、起動時にSDカード内のファイルをチェックするためレジューム機能が働きません。
	USB接続をした。 USB接続を解除すると本機はデータベースを更新するため、レジューム機能が働きません。

こんなメッセージが表示されたら

表示	対策
ファイルシステムエラー	本機のファイルシステムで異常が発生しました。 本機をフォーマットしてください。(78ページ)
サポート外のファイルです	本機でサポートされていない形式のファイルを再生しようとしました。 本機で再生できるファイル形式は、「定格」(86ページ)をご覧ください。
コンテンツがありません	本機内に再生できる曲が保存されていません。
しばらくお待ちください	本機内の曲情報を更新しています。 更新が終わるまでしばらくお待ちください。
ローバッテリー	電池の残量がありません。充電してください。
録音曲数がいっぱいです	ファイルを管理できる最大数に達しているため、これ以上録音できません。さらに録音する場合は、不要な曲を削除してください。(68ページ)
メモリーがいっぱいです	メモリーがいっぱいで録音できません。 さらに録音する場合は、先に不要な曲を削除してください。(68ページ)
時計が設定されていません	時計を設定していないと録音ができません。 時計を合わせてください。(24ページ)
このファイルは分割できません	WMA形式のファイルを分割しようとした。 ファイルを分割できるのはWAV形式のファイルだけです。(72ページ)
	録音ファイル以外を分割しようとした。 ホーム画面の「録音ファイル」からWAV形式の録音ファイルを選択した場合のみ、録音ファイルを分割できます。(72ページ)

強制フォーマットについて

「しばらくお待ちください」表示が消えないなど、本機の操作ができないときは、ファイルシステムに異常があります。このときは、本機を強制的にフォーマットして初期状態に戻します。

強制フォーマットを行う前に

SD カードを挿入していますか。

- いいえ → 内蔵メモリのファイルシステムに異常があります。
- はい → 一度電源を切り、SD カードを取り出してから電源を入れます。起動しましたか。（電源が切れない場合はリセットボタンを押します。）
  - いいえ → 内蔵メモリのファイルシステムに異常があります。
  - はい → SD カードのファイルシステムに異常があります。パソコンなどで SD カードが使用できるか確認してください。または、下記の操作で内蔵メモリと一緒に SD カードをフォーマットしてください。

内蔵メモリのファイルシステムに異常があります。
下記の操作で内蔵メモリをフォーマットしてください。

強制フォーマットの手順

SDカードを挿入している場合は、内蔵メモリと一緒にSDカードもフォーマットします。

《注意》 ● フォーマットはすべてのファイルを削除します。いったんフォーマットしたメモリの内容は元に戻せません。

1. 電源を切る

電源/メニューボタンを押し続けます。

電源/メニューボタンで電源が切れない場合は、リセットボタンを押します。（19ページ）

2. 強制フォーマット

ボリュームの▽ボタンを押しながら、電源/メニューボタンを押し続けます。
フォーマット確認画面が表示されます。

3.「はい」を選択する

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して「はい」を選択します。
►/■ボタンを押すとフォーマットを開始します。

4. 電源を入れ直します

電源/メニューボタンを押し続けて、電源を切ります。再度、電源/メニューボタンを押し続けて、電源を入れます。

お問い合わせの前に

お問い合わせの際は、あらかじめ下記の項目をご用意ください。また、製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。
http://www.kenwood.co.jp/faq/

製品に関して
- 製品ご購入日
- 製品名および製品型番
- シリアル番号
  本体の背面に貼られているシールの8桁の数字です。
- ファームウェアバージョン
  設定メニューの「システム情報」（77ページ）でご覧になれます。

パソコン環境に関して
- OS： Windows Vista、XP
- サービスパックのバージョン

不具合症状に関して
- 症状の詳細
  1) 何が
  2) どのような状況で
  3) どんな症状が発生したか
- 症状の頻度
  1) 一度だけ発生し、その後は起きていない
  2) 再発するが、再起動すれば発生しない
  3) 再起動しても発生する
  4) その他
- 症状発生した直前の操作内容
  1) 症状発生時のパソコンおよび本体の画面の状態（パソコンおよび本体表示）
  2) エラーメッセージの有無とメッセージ内容
  3) トラブルを解決しようとして行った操作内容

本機での録音に関して
- 不具合発生の設定について
  1) 録音の音源（外部マイクの場合は、マイクの種類やメーカー名、品番）
  2) 録音の設定（マイクモードなど）
  3) 録音先
  4) 録音フォーマット
     WAV（_____ kHz）
     WMA（_____ kbps）

録音（リッピング）に関して
- 録音（リッピング）ソフト名とバージョン：Windows Media Player 11/10/9 等
- 不具合発生のファイルについて
  1) アーティスト名
  2) アルバム名
  3) タイトル名
  4) 録音（リッピング）方式
  5) ビットレート/サンプリング周波数
     MP3（_____ kbps、VBR）
     WMA（_____ kbps、VBR）
     WAV（_____ kHz）
  ※ WMAファイルの場合、著作権保護（DRM）の有無
  ※ 可変ビットレート（VBR）の場合は、設定した可変の幅

SDカードに関して
1) メーカー名
2) 品番

重要：本機の修理をご依頼のときは、メモリーの内容（オーディオデータなど）の保証はいたしません。

お問い合わせ窓口

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日〜金曜日　**9:30 〜 18:00**
土曜日　**9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:30**
※日曜、祝日及び弊社休日を除く

ナビダイヤル®　**0570-010-114**
※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX　**045-933-5553**
- 〒 226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2

ケンウッド全国サービス網（2008年1月現在）

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお申しつけください。
（各サービスセンターの名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

北海道

札幌サービスセンター　☎ (011) 743-7740
〒 007-0834　札幌市東区北 34 条東 14-1-23

東北

仙台サービスセンター　☎ (022) 284-1171
〒 984-0042　仙台市若林区大和町 5-32-12（サンライズ大和）

関東・信越

さいたまサービスセンター　☎ (048) 647-6818
〒 330-0801　さいたま市大宮区土手町 1-2（JA 共済埼玉ビル 1F）

千葉サービスセンター　☎ (04) 7163-1441
〒 277-0081　柏市富里 1-2-1

横浜サービスセンター　☎ (045) 939-6242
〒 226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2

新潟サービスセンター　☎ (025) 287-7736
〒 950-0923　新潟市姥ケ山 1-5-37

目黒サービスセンター *[1]　☎ (03) 3477-5411
〒 153-0042　目黒区青葉台 3-17-9

*[1] 修理持込専用窓口：電話でのお問合せはカスタマーサポートセンターに転送にて承ります。

中部・甲州

名古屋サービスセンター　☎ (052) 917-2550
〒 462-0861　名古屋市北区辻本通 1-11

静岡サービスセンター　☎ (054) 262-8700
〒 420-0816　静岡市葵区沓谷 5-61-1

金沢サービスセンター　☎ (076) 265-5045
〒 920-0036　金沢市元菊町 21-87

近畿・四国

大阪サービスセンター　☎ (06) 6394-8075
〒 532-0034　大阪市淀川区野中北 2-1-22

高松サービスセンター　☎ (087) 835-2413
〒 760-0068　高松市松島町 3-1

中国

広島サービスセンター　☎ (082) 832-2210
〒 731-0137　広島市安佐南区山本 1-8-23

九州

福岡サービスセンター　☎ (092) 551-9755
〒 815-0035　福岡市南区向野 2-8-18

鹿児島サービスセンター　☎ (099) 251-6347
〒 890-0063　鹿児島市鴨池 2-15-10（パレス鴨池 1F）

沖縄サービスセンター　☎ (098) 874-9010
〒 901-2101　浦添市西原 4-36-17（(株) 物琉 2F）

- ケンウッドサービスセンター　営業時間のご案内：
  午前 10 時から午後 6 時まで
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1.保証について

- **保証書**－製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「**お買い上げ日**」・「**販売店名**」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間**－お買い上げの日より 1 年間です。
  電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「**無料修理規定**」をご覧ください。

2.修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

3.補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.修理を依頼されるときは

「**故障かな？と思ったら**」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5.アフターサービスについて

- 保証期間中は、「**無料修理規定**」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
  ① 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
  ② 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
  ③ 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
  ④ 送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかリモコン、ヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6.保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
5. **次の場合には保証期間内でも有料になります。**
   (1) 保証書のご提示のない場合。
   (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
   (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
   (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
   (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等）
   (8) 製造番号の改変及び、取り外した製品。
   (9) 消耗部品 (例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池等) の交換。
   (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。 (This warranty is valid only in Japan.)
7. **保証書は、再発行しません。大切に保管してください。**

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、サービス窓口へお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「**保証とアフターサービス**」をご覧ください。

保証書

持込修理用
（日本国内専用）

品名	デジタル オーディオ レコーダー	形名	MGR-A7
保証対象	本体	保証期間	（お買上げ日より）1 年間
※お買上げ日	年　月　日		
※お客様	お名前　様 ご住所 電話番号　（　）		
※販売店	店名 住所 電話番号　（　）		

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3